

データヘルス計画

第3期計画書

最終更新日：令和 6 年 01 月 29 日

栃木県農協健康保険組合

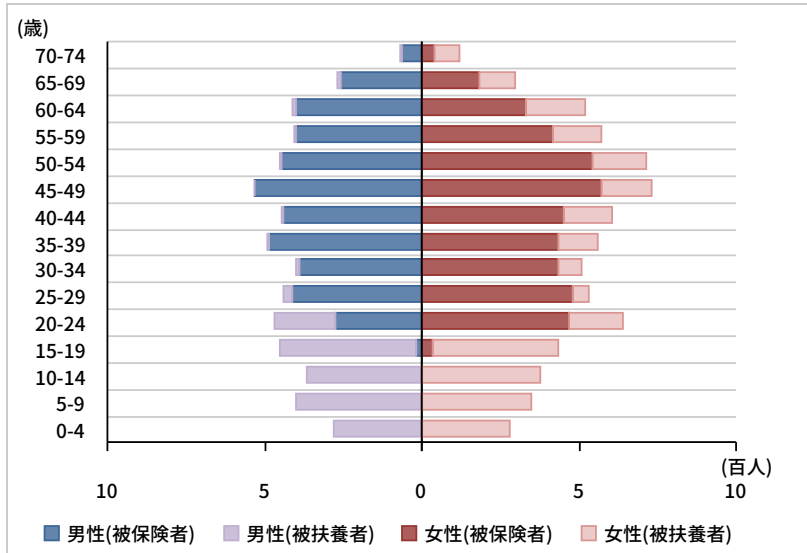
STEP 1 - 1 基本情報

組合コード	41237		
組合名称	栃木県農協健康保険組合		
形態	総合		
業種	複合サービス業		
	令和6年度見込み	令和7年度見込み	令和8年度見込み
被保険者数 * 平均年齢は 特例退職被保険者を除く	8,515名 男性48.4% (平均年齢44.7歳) * 女性51.6% (平均年齢42.6歳) *	-名 男性-% (平均年齢-歳) * 女性-% (平均年齢-歳) *	-名 男性-% (平均年齢-歳) * 女性-% (平均年齢-歳) *
特例退職被保険者数	0名	-名	-名
加入者数	13,142名	-名	-名
適用事業所数	33カ所	-カ所	-カ所
対象となる拠点数	0カ所	-カ所	-カ所
保険料率 *調整を含む	106.0‰	-‰	-‰

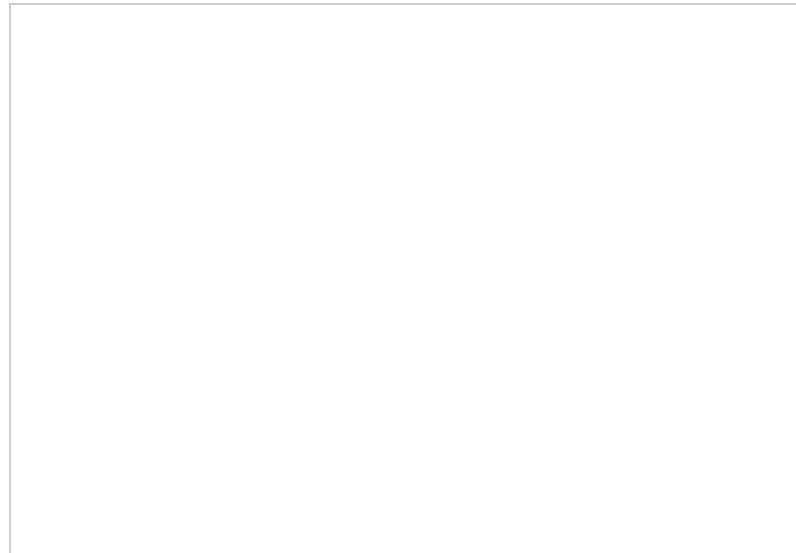
		健康保険組合と事業主側の医療専門職					
		令和6年度見込み		令和7年度見込み		令和8年度見込み	
		常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)
健保組合	顧問医	0	0	-	-	-	-
	保健師等	1	0	-	-	-	-
事業主	産業医	0	0	-	-	-	-
	保健師等	0	0	-	-	-	-
		第3期における基礎数値 (令和4年度の実績値)					
特定健康診査実施率 (特定健康診査実施者数÷ 特定健康診査対象者数)		全体	4,875 / 5,978 = 81.5 %				
		被保険者	4,356 / 4,930 = 88.4 %				
		被扶養者	519 / 1,048 = 49.5 %				
特定保健指導実施率 (特定保健指導実施者数÷ 特定保健指導対象者数)		全体	386 / 908 = 42.5 %				
		被保険者	371 / 862 = 43.0 %				
		被扶養者	15 / 46 = 32.6 %				

		令和6年度見込み		令和7年度見込み		令和8年度見込み	
		予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)
保健事業費	特定健康診査事業費	12,927	1,518	-	-	-	-
	特定保健指導事業費	11,544	1,356	-	-	-	-
	保健指導宣伝費	17,000	1,996	-	-	-	-
	疾病予防費	198,608	23,324	-	-	-	-
	体育奨励費	7,700	904	-	-	-	-
	直営保養所費	0	0	-	-	-	-
	その他	3,500	411	-	-	-	-
	小計 …a	251,279	29,510	0	-	0	-
	経常支出合計 …b	4,357,194	511,708	-	-	-	-
	a/b×100 (%)	5.77		-		-	

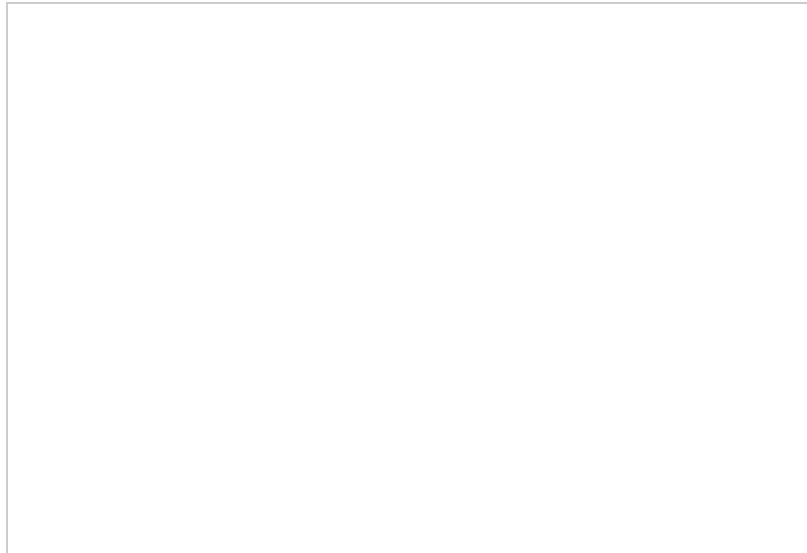
令和6年度見込み



令和7年度見込み



令和8年度見込み



男性（被保険者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	0人	5～9	0人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	0人	15～19	16人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	273人	25～29	413人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	389人	35～39	487人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	441人	45～49	534人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	447人	55～59	398人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	401人	65～69	259人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	63人			70～74	-人			70～74	-人		

女性（被保険者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	0人	5～9	0人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	0人	15～19	37人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	471人	25～29	478人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	435人	35～39	432人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	454人	45～49	569人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	545人	55～59	418人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	331人	65～69	182人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	42人			70～74	-人			70～74	-人		

男性（被扶養者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	281人	5～9	398人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	367人	15～19	435人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	197人	25～29	26人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	14人	35～39	8人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	8人	45～49	2人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	3人	55～59	4人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	14人	65～69	12人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	8人			70～74	-人			70～74	-人		

女性（被扶養者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	281人	5～9	347人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	376人	15～19	399人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	174人	25～29	52人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	74人	35～39	124人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	154人	45～49	160人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	169人	55～59	157人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	191人	65～69	114人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	78人			70～74	-人			70～74	-人		

基本情報から見える特徴

- ・ 中規模、総合型の健保組合である。
- ・ 被保険者は以前、男性比率が高かったが、現在は女性比率が高くなっている。
- ・ 健保組合に保健師を常勤で配置している。

STEP 1 - 2 保健事業の実施状況

保健事業の整理から見える特徴	
事業の一覧	
職場環境の整備	
保健指導宣伝	健康管理事業推進委員会
加入者への意識づけ	
保健指導宣伝	機関誌発行
保健指導宣伝	すこやか健保
保健指導宣伝	ホームページ運営
保健指導宣伝	健康者慶祝
保健指導宣伝	医療費通知
保健指導宣伝	ジェネリック医薬品差額通知
個別の事業	
特定健康診査事業	特定健康診査
特定保健指導事業	特定保健指導
保健指導宣伝	事務担当者説明会
保健指導宣伝	健康教育講座
保健指導宣伝	レセプト点検
疾病予防	人間ドック
疾病予防	節目ドック
疾病予防	脳ドック
疾病予防	脳・動脈硬化ドック
疾病予防	肺ドック
疾病予防	胃検診
疾病予防	子宮癌検診
疾病予防	乳癌検診
疾病予防	骨密度検診
疾病予防	インフルエンザ予防接種利用料補助
疾病予防	歯科健診
疾病予防	禁煙治療費用補助
疾病予防	糖尿病重症化予防
体育奨励	東京ディズニーリゾートウォーキング
体育奨励	体力づくり
体育奨励	体力づくり(参加費補助)
体育奨励	体力づくり(J A グループ栃木野球大会)
体育奨励	保健体育大会補助
その他	契約保養所利用補助
予算措置なし	共同保健指導宣伝
事業主の取組	
1	その他

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業目標	対象者				事業費 (千円)	振り返り			注2) 評価
				対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
職場環境の整備												
保健指導宣伝	1,5	健康管理事業推進委員会	保健事業に関する事業計画の企画立案・策定及び結果の分析と評価を行う。	全て	男女	18～74	被保険者	36	12月開催 12事業所 16人参加	歯科と運動をテーマに専門講師による講演を行った。 スコアリングレポートの活用や保健事業の概要を説明した。	-	4
加入者への意識づけ												
保健指導宣伝	5	機関誌発行	年2回発行し、被保険者・被扶養者に対しタイムリーな情報提供を行う。	全て	男女	18～74	被保険者	3,131	年2回発行 任意継続：自宅に直接郵送	健康に関する知識や組合の事業運営状況等をタイムリーに周知	-	4
	5	すこやか健保	健康に関する知識、医療費などに関する情報を事業所に周知し、健康に対する啓蒙を図る。	全て	男女	18～74	被保険者	30	毎月1回事業所へ送付	情報発信・健康意識の向上に寄与	-	4
	5	ホームページ運営	被保険者及び被扶養者に対し、タイムリーな情報提供を行う。	全て	男女	0～74	加入者全員	458	ホームページ年間アクセス数 合計 10,232回 月平均 852.7回	健康保険制度及び保健事業についての掲載や新着情報等の発信を行った。	-	4
	8	健康者慶祝	健康者慶祝を通じ、自身の健康に対する関心を高め、健康の保持増進と医療費の適正化をはかる。	全て	男女	0～74	被保険者,被扶養者,基準該当者	9,677	健康慶祝者の該当者数 1年以上 579人 3年以上 109人 5年以上 56人 世帯 9人	記念品等を自宅に直接送付	-	4
	2	医療費通知	被保険者・被扶養者の医療費を通知し、実態を認識させる。	全て	男女	0～74	被保険者,被扶養者,基準該当者	4,423	年2回受診者へ通知 総発行枚数 20,986枚	・事業所経由で被保険者に配付 ・任意継続者は自宅に郵送	-	4
	7	ジェネリック医薬品差額通知	調剤医療費の適正化	全て	男女	0～74	被保険者,被扶養者,基準該当者	297	年1回対象者へ送付 通知対象者 717件 自己負担差額 500円以上を対象	事業所経由で被保険者に配付 広報誌にジェネリック使用推進に関する記事を掲載 年間削減効果(推計) 件数 3,042件 金額 3,950,880円	-	4
個別の事業												
特定健康診査事業	3	特定健康診査	特定健診の受診率向上、加入者の健康維持。	全て	男女	40～74	加入者全員	5,035	受診券送付者数 795人 利用者数 170人 実施者数 被保険者 747人 被扶養者 163人 合計 910人	実施計画書の目標受診率 83.6% 令和4年度受診率 81.5% (内訳)被保険者 88.4% 被扶養者 49.5%	被扶養者の受診率向上	3
特定保健指導事業	4	特定保健指導	保健指導実施率の向上。 生活習慣病リスク保有者の生活習慣、健康状態の改善。	全て	男女	40～74	被保険者,被扶養者,基準該当者	7,989	実施者数 被保険者 371人 被扶養者 15人 合計 386人 実施者内訳 動機付け支援 217人 積極的支援(動機付け支援相当含む) 169人 合計 386人	実施計画書の目標指導率 38.1% 令和4年度指導率 42.5% 動機付け支援 53.1% 積極的支援 33.9%	-	4

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業目標	対象者				事業費 (千円)	振り返り			注2) 評価
				対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
保健指導宣伝	1,5	事務担当者説明会	適用事業所事務担当者の健康保険制度についての知識向上と保健事業の周知	全て	男女	18～74	被保険者	98	6月開催 24事業所 26人参加	適用処理の説明以外に保健事業に関する説明を行い事業に対する理解を深めることに寄与した。	-	4
	5	健康教育講座	健康に関する知識・情報の提供	全て	男女	0～74	加入者全員	0	場所：ホテル東日本宇都宮 テーマ：「歯科セミナー」6事業所7人参加 講師：公益財団法人ライオン歯科衛生研究所健診事業推進室 生井 登志子氏	新型コロナウイルスの影響で中止となっていたが、2年ぶりに再開	更なる参加者の増加	3
	8	レセプト点検	医療費の適正化	全て	男女	0～74	被保険者,被扶養者,基準該当者	1,072	令和4年度内容点検 査定点数計 38,604点	レセプトの内容点検を実施し、医療費の適正化を図った	-	4
疾病予防	3	人間ドック	疾病の早期発見・早期治療	全て	男女	30～74	加入者全員	140,460	実施人数 被保険者 3,988人 被扶養者 369人 合計 4,357人	事前に申し込み取りまとめ (健保補助額 32,000円)	被扶養者の受診率向上	3
	3	節目ドック	疾病の早期発見・早期治療	全て	男女	40～55	被保険者,被扶養者,基準該当者	297	受診券発行者数 78人 受診 被保険者 4人 受診 被扶養者 3人 受診 合計 7人	該当者へ受診券送付 (日帰りドック費用全額補助)	被保険者、被扶養者の受診率向上	2
	3	脳ドック	疾病の早期発見・早期治療	全て	男女	30～74	加入者全員	20,315	実施人数 被保険者 645人 被扶養者 39人 合計 684人	事前申し込み取りまとめ (健保補助額 29,700円)	被扶養者の受診率向上	3
	3	脳・動脈硬化ドック	疾病の早期発見・早期治療	全て	男女	30～74	加入者全員	2,848	実施人数 被保険者 75人 被扶養者 14人 合計 89人	事前申し込み取りまとめ (健保補助額 32,000円)	被扶養者の受診率向上	3
	3	肺ドック	疾病の早期発見・早期治療	全て	男女	30～74	加入者全員	408	実施人数 被保険者 15人 被扶養者 1人 合計 16人	事前申し込み取りまとめ (健保補助額 25,500円)	被扶養者の受診率向上	3
	3	胃検診	疾病の早期発見・早期治療	全て	男女	0～74	加入者全員	2,969	実施人数 被保険者 290人 被扶養者 29人 合計 319人	事前申し込み取りまとめ (健保補助額 上限 10,400円)	-	3
	3	子宮癌検診	疾病の早期発見・早期治療	全て	女性	0～74	加入者全員	1,669	実施人数 被保険者 373人 被扶養者 71人 合計 444人	事前申し込み取りまとめ (健保補助額 上限 4,200円)	-	3
	3	乳癌検診	疾病の早期発見・早期治療	全て	女性	0～74	加入者全員	5,418	実施人数 被保険者 1,098人 被扶養者 192人 合計 1,290人	事前申し込み取りまとめ (健保補助額 上限 4,200円)	-	3
	3	骨密度検診	疾病の早期発見・早期治療	全て	女性	50～74	加入者全員	207	実施人数 被保険者 160人 被扶養者 17人 合計 177人	事前申し込み取りまとめ (健保補助額 上限 2,000円)	-	3
	3	インフルエンザ予防接種利用料補助	インフルエンザ蔓延予防・感染防止	全て	男女	0～74	加入者全員	13,133	実施人数 被保険者 5,393人 被扶養者 1,280人 合計 6,673人	個人負担の軽減(健保補助額 上限 2,000円)	-	4
	3	歯科健診	歯科医療費の適正化	全て	男女	18～74	被保険者	73	実施人数 【出向型】実施事業所なし 【来院型】22人受診	・全額補助 ・ドックの冊子や広報誌に歯科健診に関する記事を掲載	更なる受診者の増加	3
	3,5	禁煙治療費用補助	喫煙者の減少、健康保持増進と受動喫煙防止	全て	男女	20～74	被保険者	0	実施者数 0人	個人負担の軽減(健保補助額 上限20,000円)	広報誌等による周知	2

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業目標	対象者				事業費(千円)	振り返り			注2) 評価
				対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
	4	糖尿病重症化予防	糖尿病に対する高リスク者の減少	全て	男女	30～64	被保険者,被扶養者,基準該当者	0	年2回通知対象者へ送付通知対象者 計24人	対象者24人中4人受診	受診勧奨による受診率の増加	3
体育奨励	8	東京ディズニーリゾートウォーキング	体力づくりのためのウォーキング及び心身のリフレッシュ	全て	男女	4～74	加入者全員	2,318	利用券発行枚数 2,230枚 実利用枚数 1,159枚	パーク内のウォーキング利用率 52.0%		3
	2	体力づくり	ウォーキング大会等を開催・協賛し、最も手軽な体力増進活動であるウォーキング等の習慣づけを図る	全て	男女	0～74	加入者全員	565	7月 りんどう湖ウォーキング大会 被保険者 12人 被扶養者 27人 合計 39人 10月 那須ハイウォーキング大会 被保険者 35人 被扶養者 62人 合計 97人	新型コロナウイルスの影響で当組合主催のウォーキング大会は中止となっていたが、2年ぶりに再開 りんどう湖ファミリー牧場、那須ハイランドパーク園内をウォーキング		4
	8	体力づくり(参加費補助)	ウォーキング等を行い、心身共にリフレッシュすることを目標とする。	全て	男女	0～74	加入者全員	136	ウォーキング大会等参加費補助実施者数 被保険者 67人 被扶養者 3人 合計 70人	当組合で補助対象となるウォーキング大会等の大会参加者に対し、参加費を補助		4
	8	体力づくり(JAグループ栃木野球大会)	野球大会を共催することにより、健康増進と加入者の親睦を図る	一部の事業所	男女	18～74	被保険者	150	8月 JAグループ栃木野球大会 参加チーム数 11チーム	【共催】開催費用の補助		4
	8	保健体育大会補助	被保険者の体力と健康の保持増進	全て	男女	18～74	被保険者	102	実施事業所 4事業所 参加被保険者 102人	補助金の支給により、事業所における保健体育大会の開催を促進		3
	8	契約保養所利用補助	加入者の心身のリフレッシュ	全て	男女	6～74	加入者全員	2,170	利用者数 被保険者 434人 被扶養者 186人 合計 620人	広報誌の春号とホームページにて利用申込書を掲載し、利用率の向上を図った。		3
予算措置なし	5	共同保健指導宣伝	加入者の健康意識の啓蒙を図る	全て	男女	0～74	加入者全員	0	健康強調月間に実施(10月)	情報発信・健康意識の向上に寄与		4

注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導・受診勧奨 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 後発医薬品の使用促進 8. その他の事業

注2) 1. 39%以下 2. 40%以上 3. 60%以上 4. 80%以上 5. 100%

事業名	事業の目的および概要	対象者			振り返り			共同 実施
		資格	性別	年齢	実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
事業主の取組								
その他	-	-	-	- ～ -	-	-	-	-

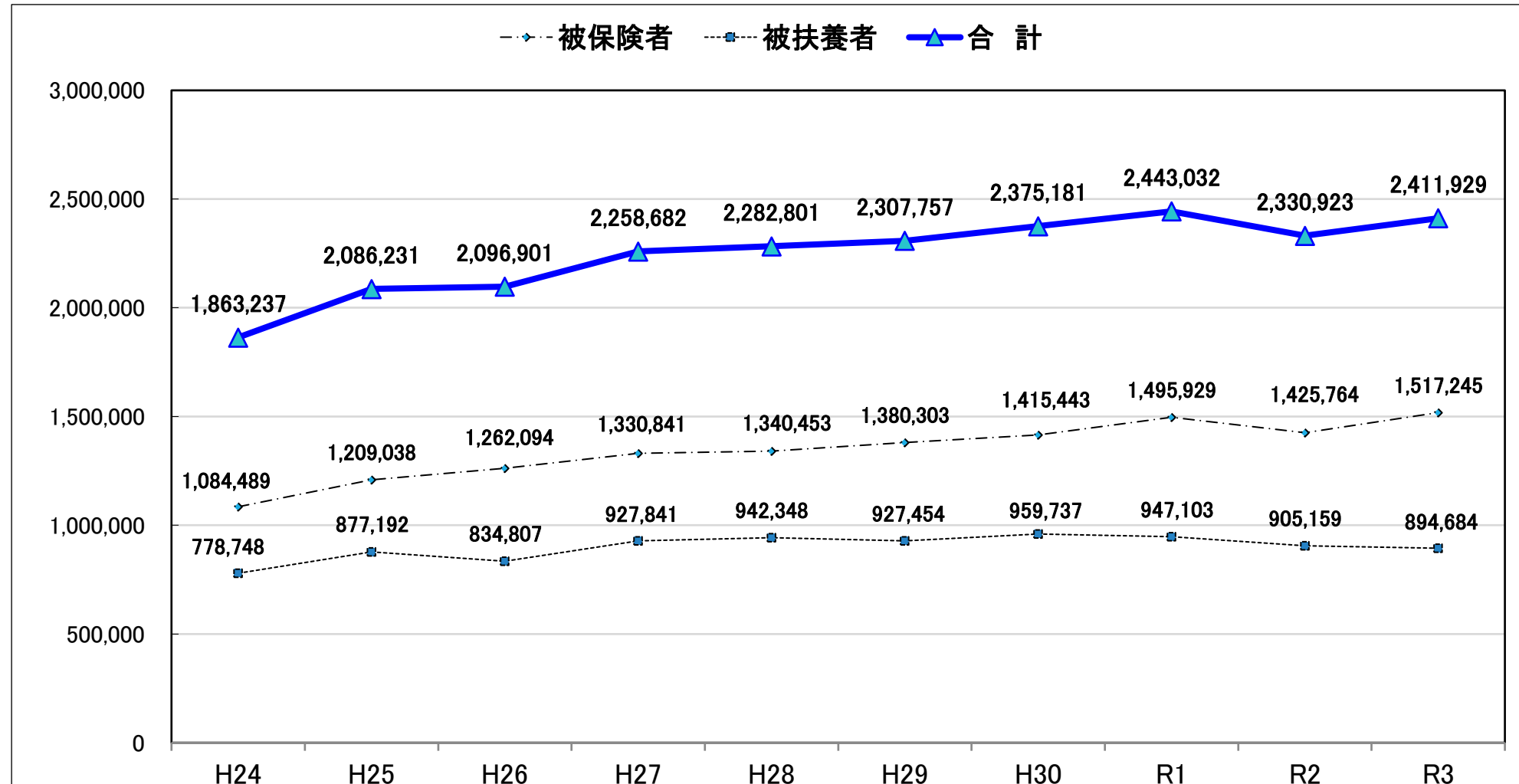
STEP 1-3 基本分析

登録済みファイル一覧

記号	ファイル画像	タイトル	カテゴリ	コメント
ア	基本分析	-	-	-

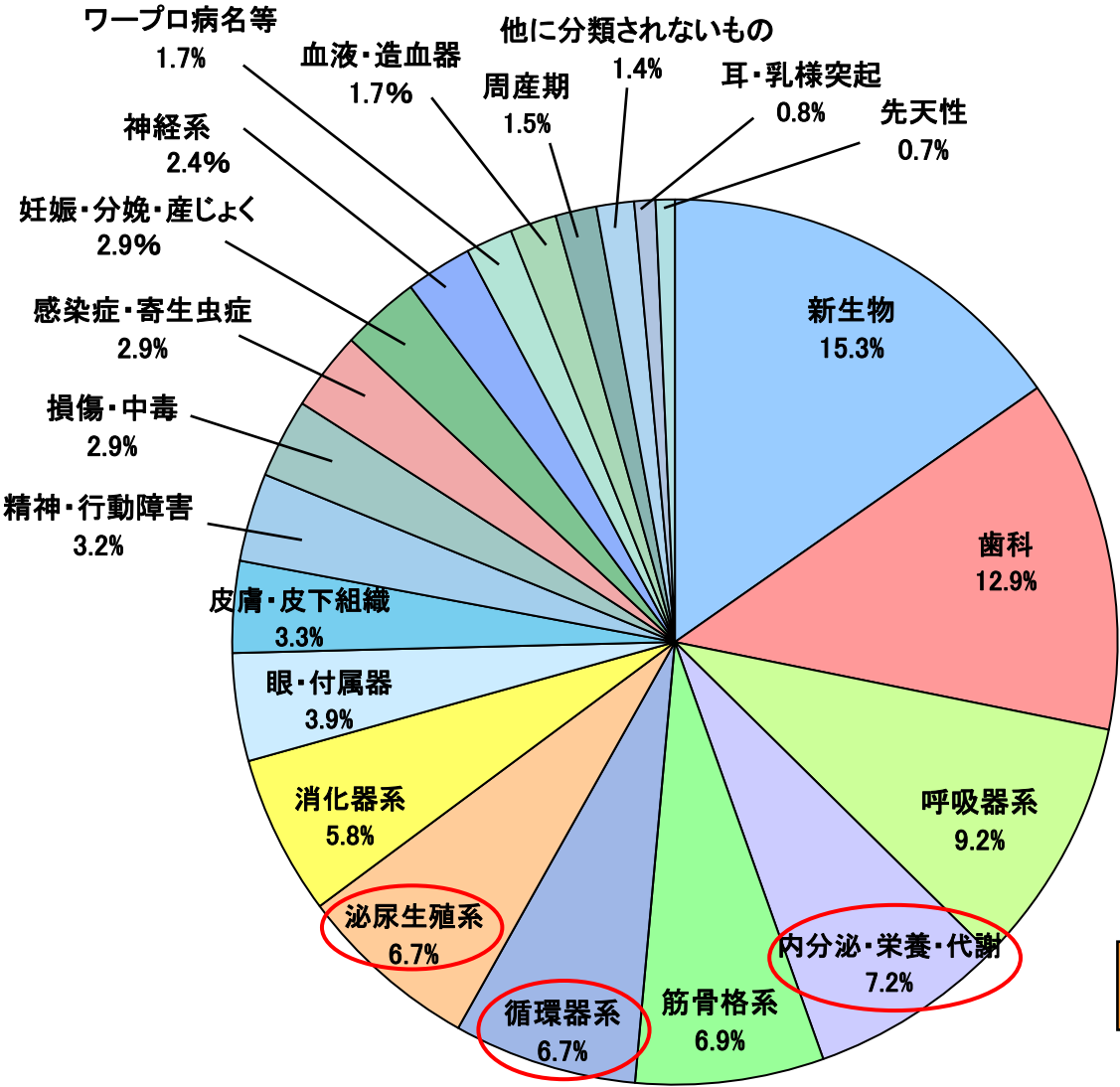
基本分析

令和3年度 年度別医療費状況表（経年変化）



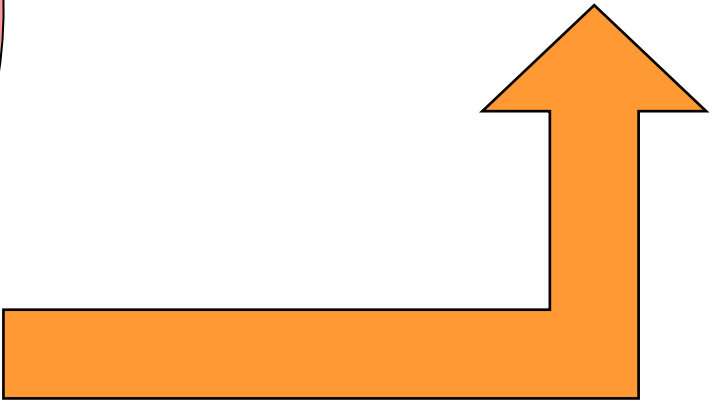
医療費の動向は、令和2年度に新型コロナ感染拡大の影響により、医療費が被保険者・被扶養者共に一時低下しましたが、令和3年度に例年の水準以上の医療費に戻るとともに、医療費全体としても年々増加傾向となっています。

令和3年度 疾病分類別医療費の割合（被保険者・被扶養者）

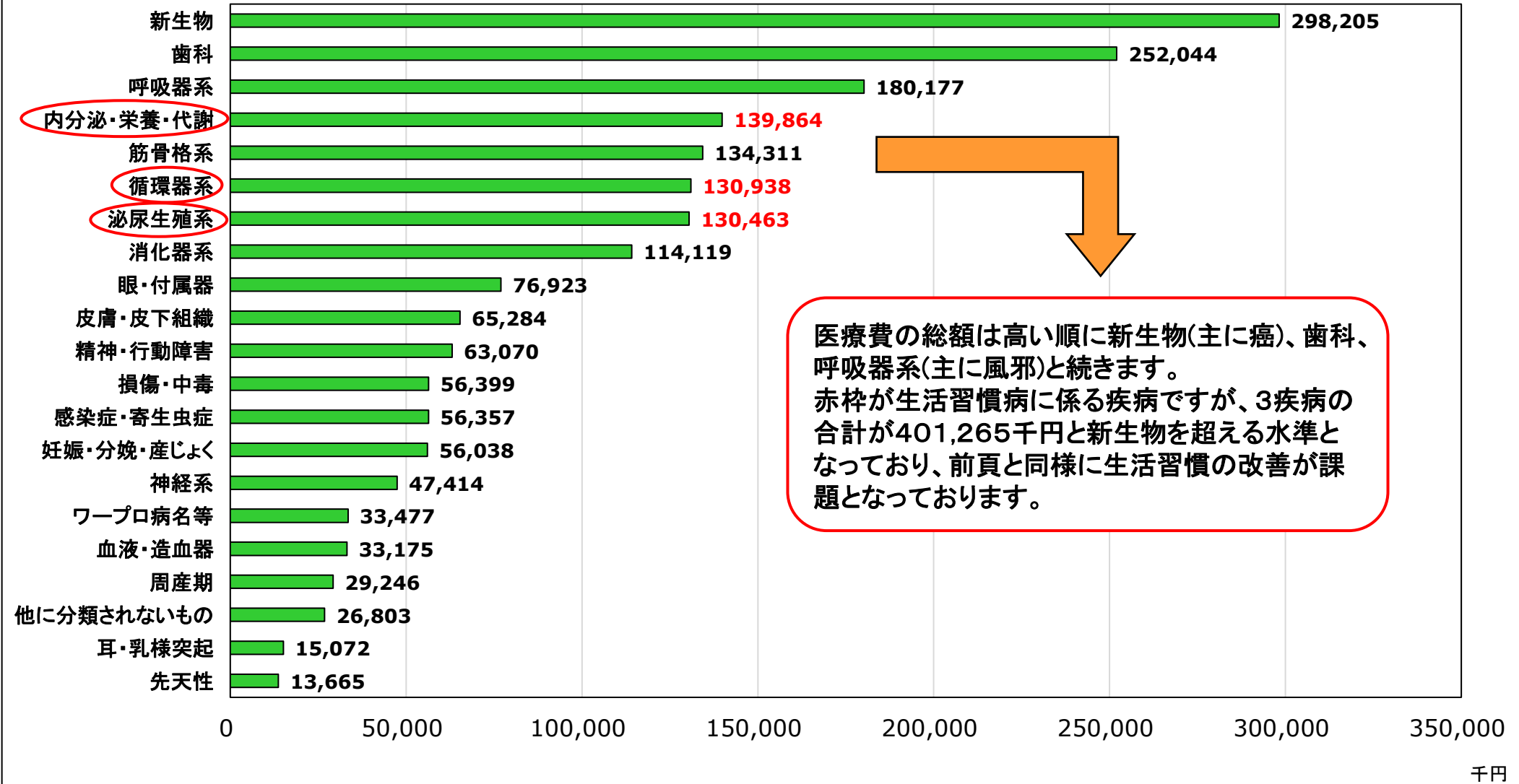


疾病分類の赤枠で囲んだ疾病が生活習慣病に係る疾病となり、主に糖尿病・高脂血症等の「内分泌・栄養・代謝」、心疾患・脳血管疾患等の「循環器系」、腎不全等の「泌尿生殖系」です。グラフ全体で占める割合は合わせて20.6%と約2割の値となっております。これらの疾病は厚生労働省の示すデータヘルスのメインターゲットとなっている部分です。

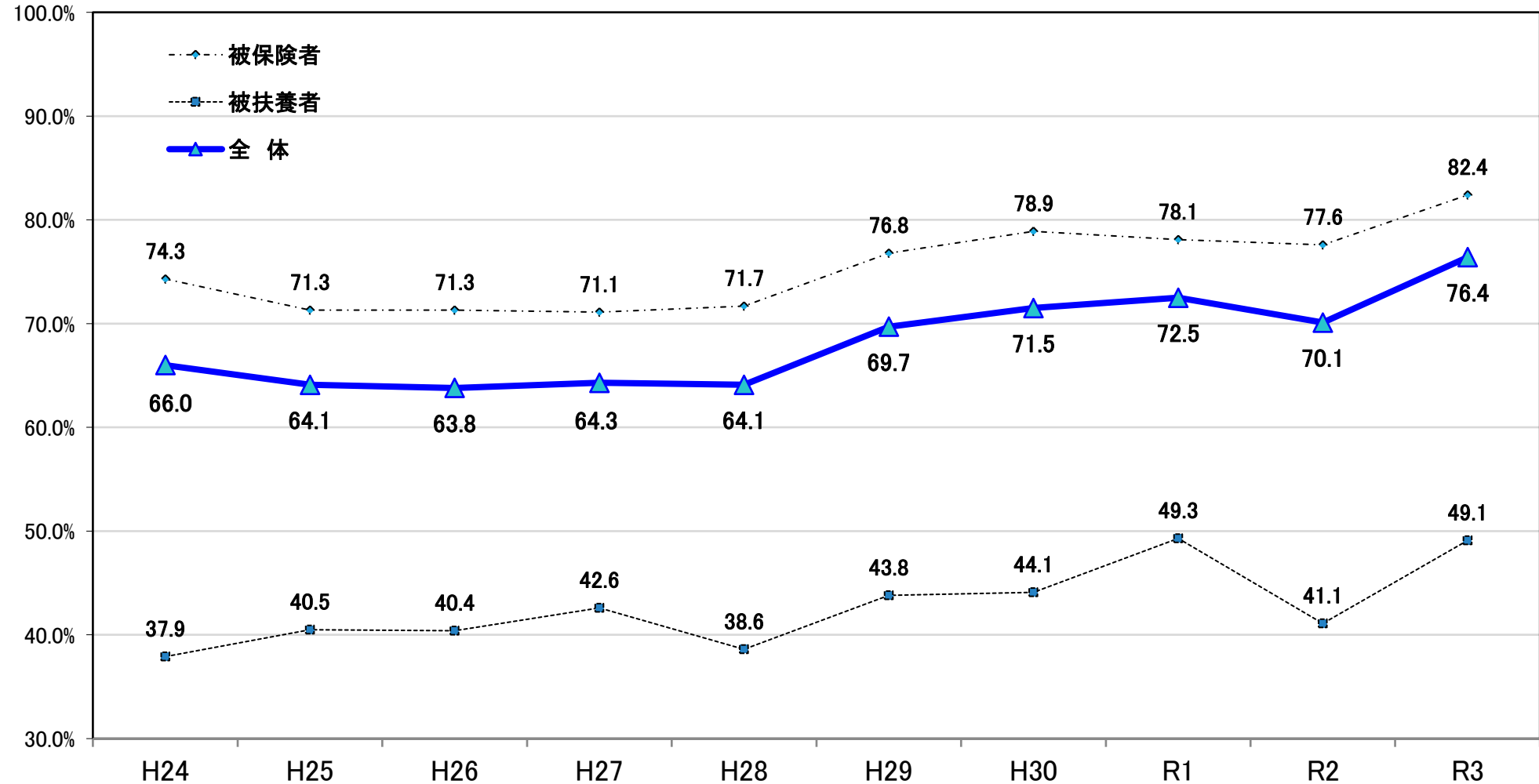
現状から、具体的な対策(生活習慣改善)が必要と考えられます。



令和3年度 疾病分類別医療費（被保険者・被扶養者）

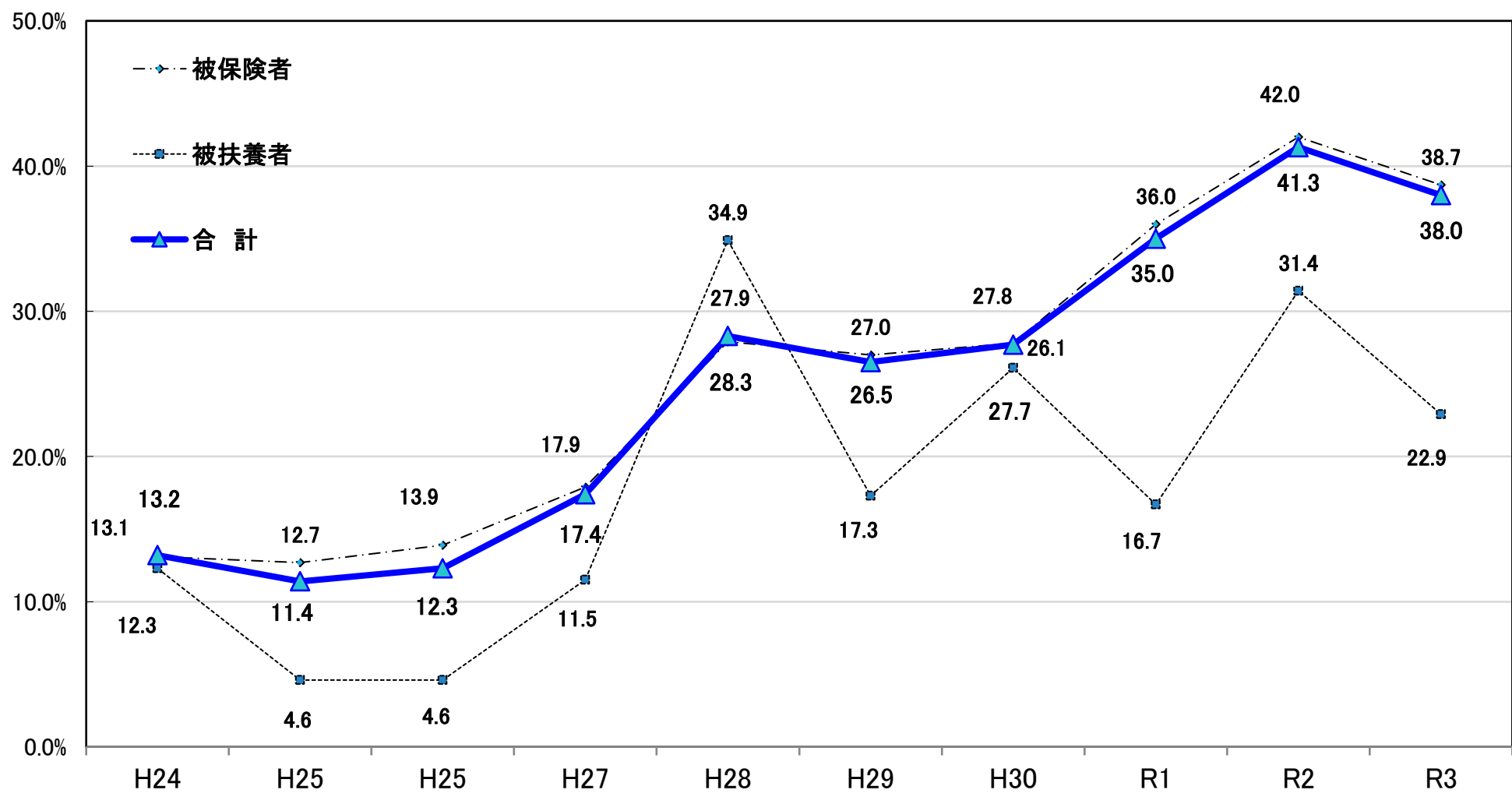


令和3年度 特定健診受診率(経年変化)



特定健診受診率は、令和2年度に新型コロナ感染拡大の影響により、全世代において受診率が低下しましたが、令和3年度に例年の水準以上の受診率に戻るとともに、健診対象者が年々減ってきていることが要因し、被保険者については、受診率がコロナ前より増加となりました。

令和3年度 特定保健指導率(経年変化)



令和2年度に新型コロナ感染拡大の影響により、全世代において特定健診受診率は低下しましたが、特定保健指導率は訪問型保健指導の実施もあって、全世代において大きな減少は見られませんでした。

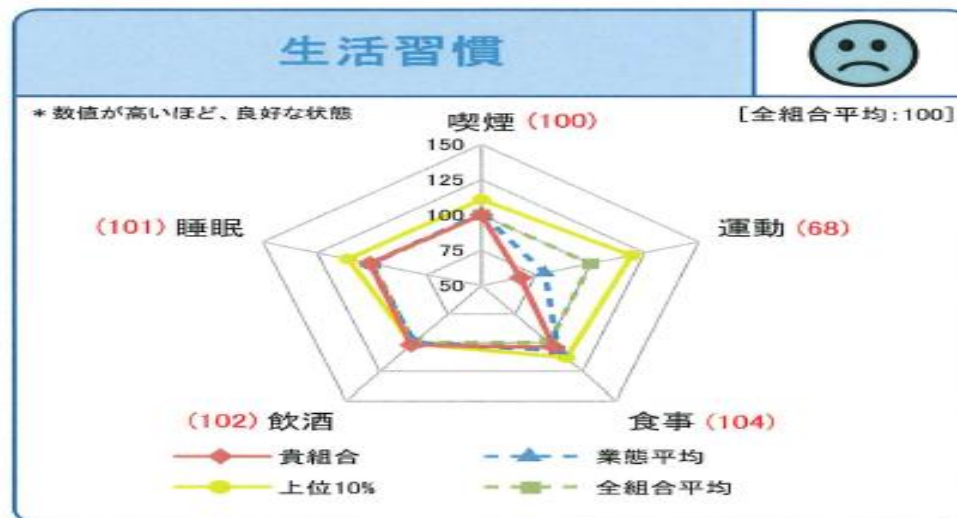
健康課題

健康課題

- (1) 運動習慣がある者の割合が非常に低く、肥満リスクも高い
- (2) 血糖リスクが高く、糖尿病の医療費が高い
- (3) 慢性腎臓病(人工透析含む)に対する医療費が高い
- (4) メタボ該当者の割合が全組合の平均と比べて高い

(1) 運動習慣がある者の割合が非常に低く、肥満リスクも高い

【貴組合の生活習慣】適正な生活習慣を有する者の割合



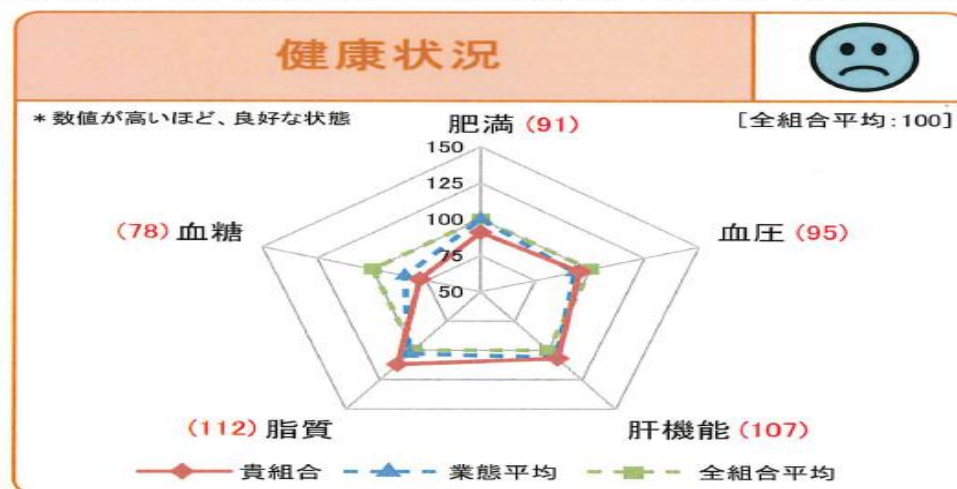
リスク	良好	中央値と 同程度	不良	ランクUPまで (*1)
喫煙習慣 リスク	😊	😊	😐	あと 70人
運動習慣 リスク	😊	😊	😐	あと 224人
食事習慣 リスク	😊	😊	😐	あと 69人
飲酒習慣 リスク	😊	😊	😐	あと 30人
睡眠習慣 リスク	😊	😊	😐	あと 29人

※ 2021年度に特定健診を受診した者のみのデータを集計。

上記のとおり当健保組合の運動習慣
リスクは中央値より不良となっている

(リスク対象者を減らす人数) を記載

【貴組合の健康状況】生活習慣病リスク保有者の割合



リスク	良好	中央値と 同程度	不良
肥満リスク	😊	😊	😐
血圧リスク	😊	😊	😐
肝機能リスク	😊	😊	😐
脂質リスク	😊	😊	😐
血糖リスク	😊	😊	😐

※ 2021年度に特定健診を受診した者のみのデータを集計。

上記のとおり当健保組合の肥満リスク
は中央値より不良となっている

【「2021年度実績分 健康スコアリングレポート」より】

生活習慣病・健診レベル判定分布 全体集計比較分析表 (被保険者・被扶養者)

農協健保				
男性	A. 非肥満		B. 肥満	
	人数	割合	人数	割合
1.基準範囲内	248	12.1%	134	6.5%
2.保健指導基準値以上	263	12.8%	295	14.4%
3.受診勧奨基準値以上	143	7.0%	273	13.3%
4.服薬投与	180	8.8%	519	25.3%

女性	A. 非肥満		B. 肥満	
	人数	割合	人数	割合
1.基準範囲内	871	36.0%	150	6.2%
2.保健指導基準値以上	367	15.2%	207	8.6%
3.受診勧奨基準値以上	156	6.5%	103	4.3%
4.服薬投与	294	12.2%	271	11.2%

全組合				
男性	A. 非肥満		B. 肥満	
	人数	割合	人数	割合
1.基準範囲内	847,506	19.3%	345,538	7.9%
2.保健指導基準値以上	622,213	14.2%	606,475	13.8%
3.受診勧奨基準値以上	300,175	6.8%	484,373	11.0%
4.服薬投与	355,799	8.1%	824,130	18.8%

女性	A. 非肥満		B. 肥満	
	人数	割合	人数	割合
1.基準範囲内	1,425,605	46.8%	171,477	5.6%
2.保健指導基準値以上	459,375	15.1%	170,995	5.6%
3.受診勧奨基準値以上	189,152	6.2%	119,769	3.9%
4.服薬投与	289,495	9.5%	217,656	7.2%

1. 基準範囲内 (検査値に特に問題の無い方)
2. 保健指導基準値以上 (特定保健指導対象者)
3. 受診勧奨基準値以上 (検査をして確認が必要な方)
4. 服薬投与 (既に、血圧・脂質・血糖で服用している方)

生活習慣病・健診レベル判定分布 (比較)

非肥満	肥満
248人(12.1%)	134人(6.5%)
263人(12.8%)	295人(14.4%)
143人(7.0%)	273人(13.3%)
180人(8.8%)	519人(25.3%)

農協健保 / 男性

非肥満	肥満
871人(36.0%)	150人(6.2%)
367人(15.2%)	207人(8.6%)
156人(6.5%)	103人(4.3%)
294人(12.2%)	271人(11.2%)

農協健保 / 女性

非肥満	肥満
847,506人(19.3%)	345,538人(7.9%)
622,213人(14.2%)	606,475人(13.8%)
300,175人(6.8%)	484,373人(11.0%)
355,799人(8.1%)	824,130人(18.8%)

全組合計 / 男性

非肥満	肥満
1,425,605人(46.8%)	171,477人(5.6%)
459,375人(15.1%)	170,995人(5.6%)
189,152人(6.2%)	119,769人(3.9%)
289,495人(9.5%)	217,656人(7.2%)

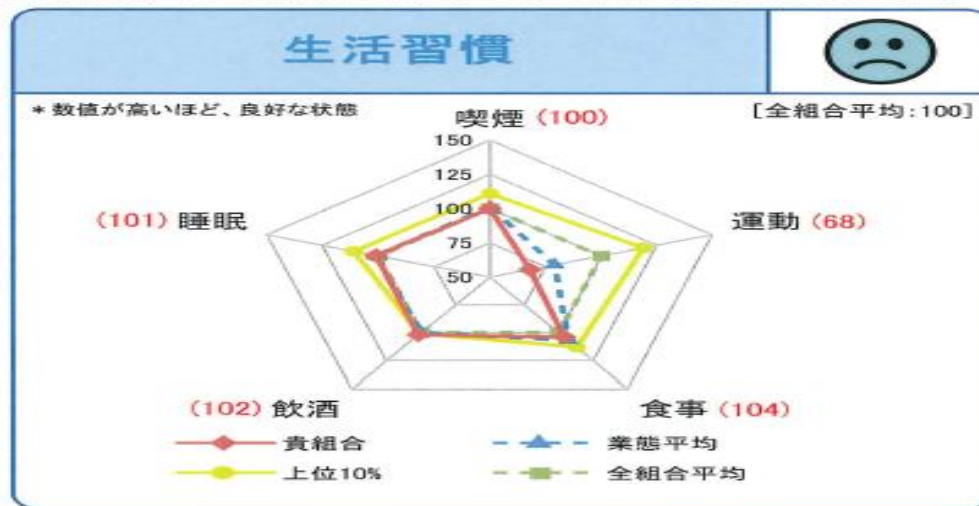
全組合計 / 女性

上記は、農協健保と全組合の非肥満と肥満の割合を表した比較表となっております。農協健保全体の肥満割合は全組合と比較した結果、どの判定別においても、男性・女性共に肥満割合が高い傾向となりました。(赤枠で囲んだ部分)

(2) 血糖リスクが高く、糖尿病の医療費が高い

(3) 慢性腎臓病(人工透析含む)に対する医療費が高い

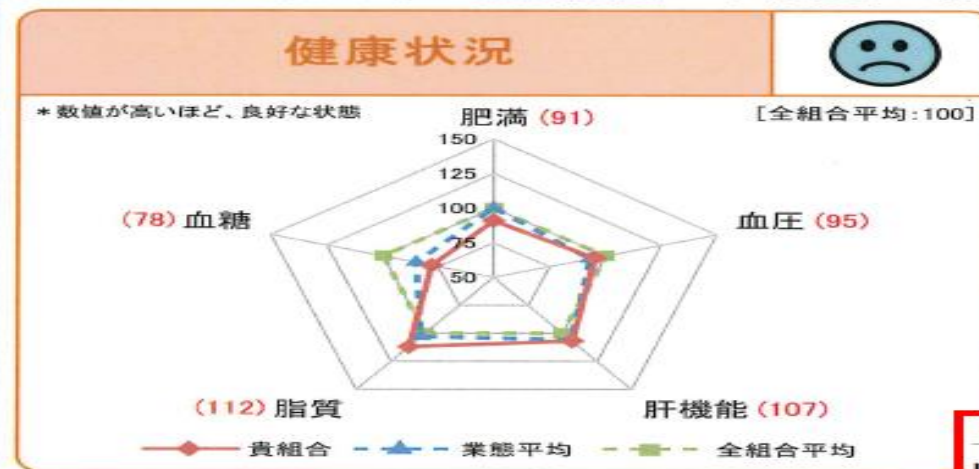
【貴組合の生活習慣】適正な生活習慣を有する者の割合



リスク	良好	中央値と 同程度	不良	ランクUPまで (*1)
喫煙習慣 リスク	😊	😊	😞	あと 70人
運動習慣 リスク	😊	😊	😞	あと 224人
食事習慣 リスク	😊	😊	😞	あと 69人
飲酒習慣 リスク	😊	😊	😞	あと 30人
睡眠習慣 リスク	😊	😊	😞	あと 29人

※ 2021年度に特定健診を受診した者のみのデータを集計。
 ※ 生活習慣データについては、一部任意項目であるため、保険者が保有しているデータのみで構成。
 ※ 上位10%は業態ごとの「総合スコア」上位10%の平均値を表す。ただし、業態内の組合数が20以下の場合は、全組合の「総合スコア」上位10%の平均値を表示。
 (*1) “ランクUP”は、5段階評価のランクを1つ上げるための目安（リスク対象者を減らす人数）を記載

【貴組合の健康状況】生活習慣病リスク保有者の割合



リスク	良好	中央値と 同程度	不良	ランクUPまで (*1)
肥満リスク	😊	😊	😞	あと 70人
血圧リスク	😊	😊	😞	あと 224人
肝機能リスク	😊	😊	😞	あと 69人
脂質リスク	😊	😊	😞	あと 30人
血糖リスク	😊	😊	😞	あと 29人

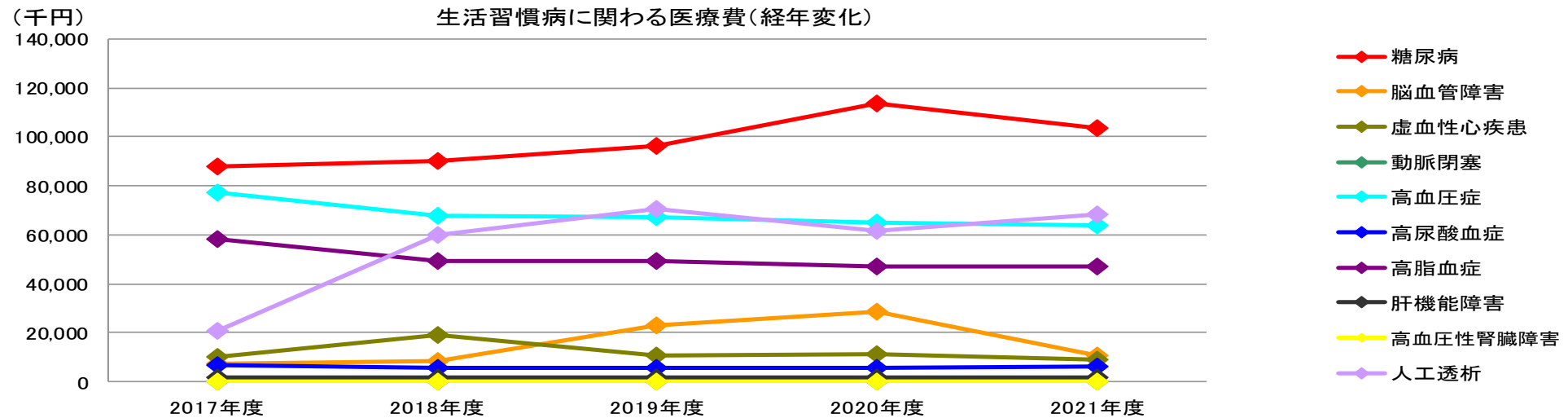
※ 2021年度に特定健診を受診した者のみのデータを集計

上記のとおり当健保組合の血糖リスクは中央値より不良となっている

【「2021年度実績分 健康スコアリングレポート」より】

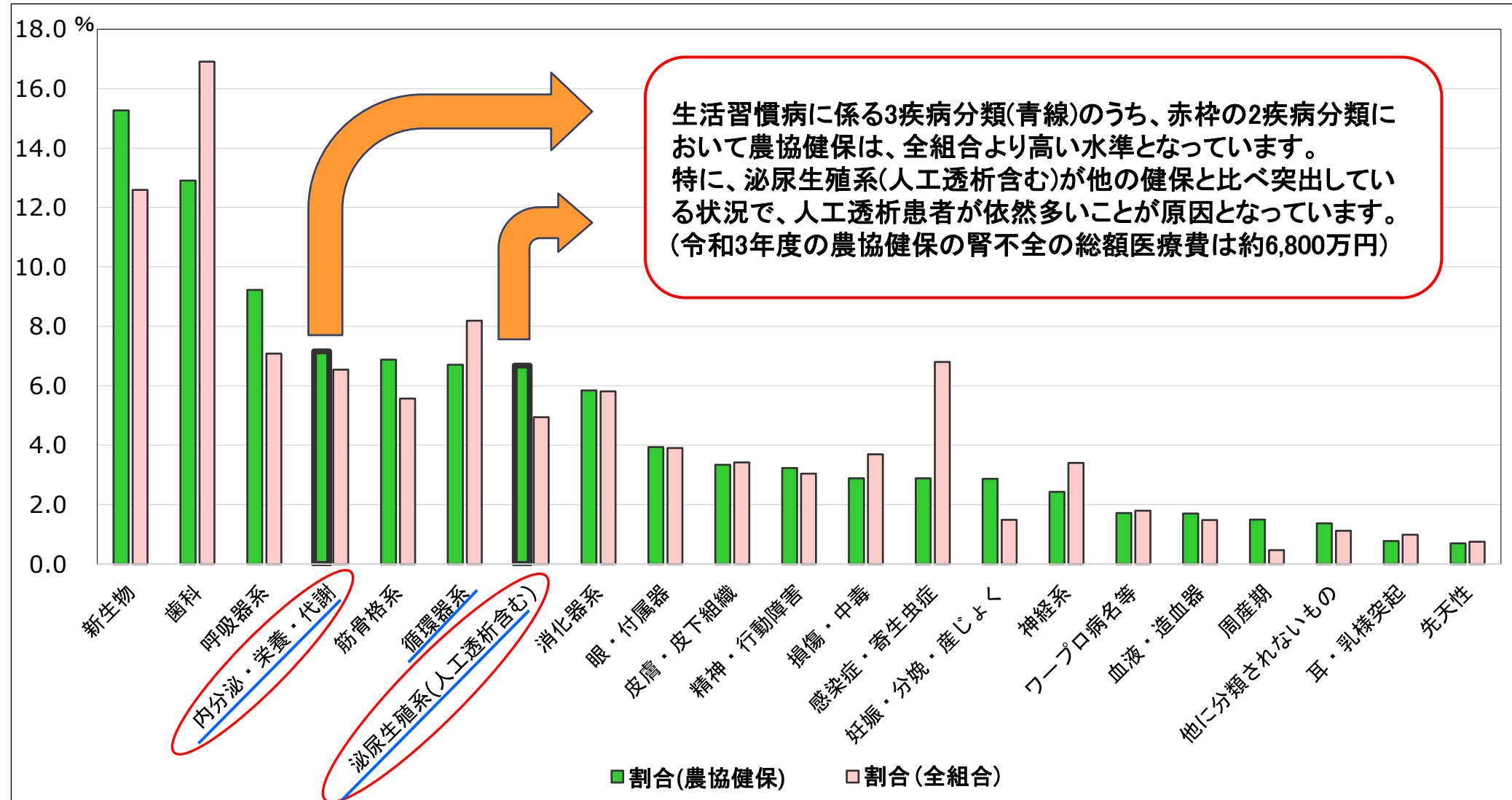
生活習慣病関連別医療費の経年変化(被保険者・被扶養者)

	2017年度	2018年度		2019年度		2020年度		2021年度	
	医療費総額	医療費総額	2017年度対比	医療費総額	2017年度対比	医療費総額	2017年度対比	医療費総額	2017年度対比
糖尿病	87,797,960	89,987,230	102.5%	96,147,730	109.5%	113,685,270	129.5%	103,584,140	118.0%
脳血管障害	7,270,910	8,502,620	116.9%	23,156,190	318.5%	28,605,720	393.4%	10,925,830	150.3%
虚血性心疾患	10,393,490	19,231,460	185.0%	10,592,170	101.9%	11,536,120	111.0%	9,118,110	87.7%
動脈閉塞	810	4,080	503.7%	5,380	664.2%	0	0.0%	0	0.0%
高血圧症	77,201,170	67,747,160	87.8%	67,197,390	87.0%	65,161,160	84.4%	63,922,580	82.8%
高尿酸血症	6,928,180	5,436,630	78.5%	5,927,800	85.6%	5,831,740	84.2%	6,343,330	91.6%
高脂血症	58,120,570	49,257,760	84.8%	49,149,220	84.6%	46,964,300	80.8%	47,212,160	81.2%
肝機能障害	1,924,650	2,035,320	105.8%	1,936,260	100.6%	1,789,340	93.0%	2,027,380	105.3%
高血圧性腎臓障害	11,180	16,130	144.3%	46,850	419.1%	22,230	198.8%	4,340	38.8%
人工透析	20,874,330	60,033,930	287.6%	70,401,450	337.3%	61,576,280	295.0%	68,431,460	327.8%

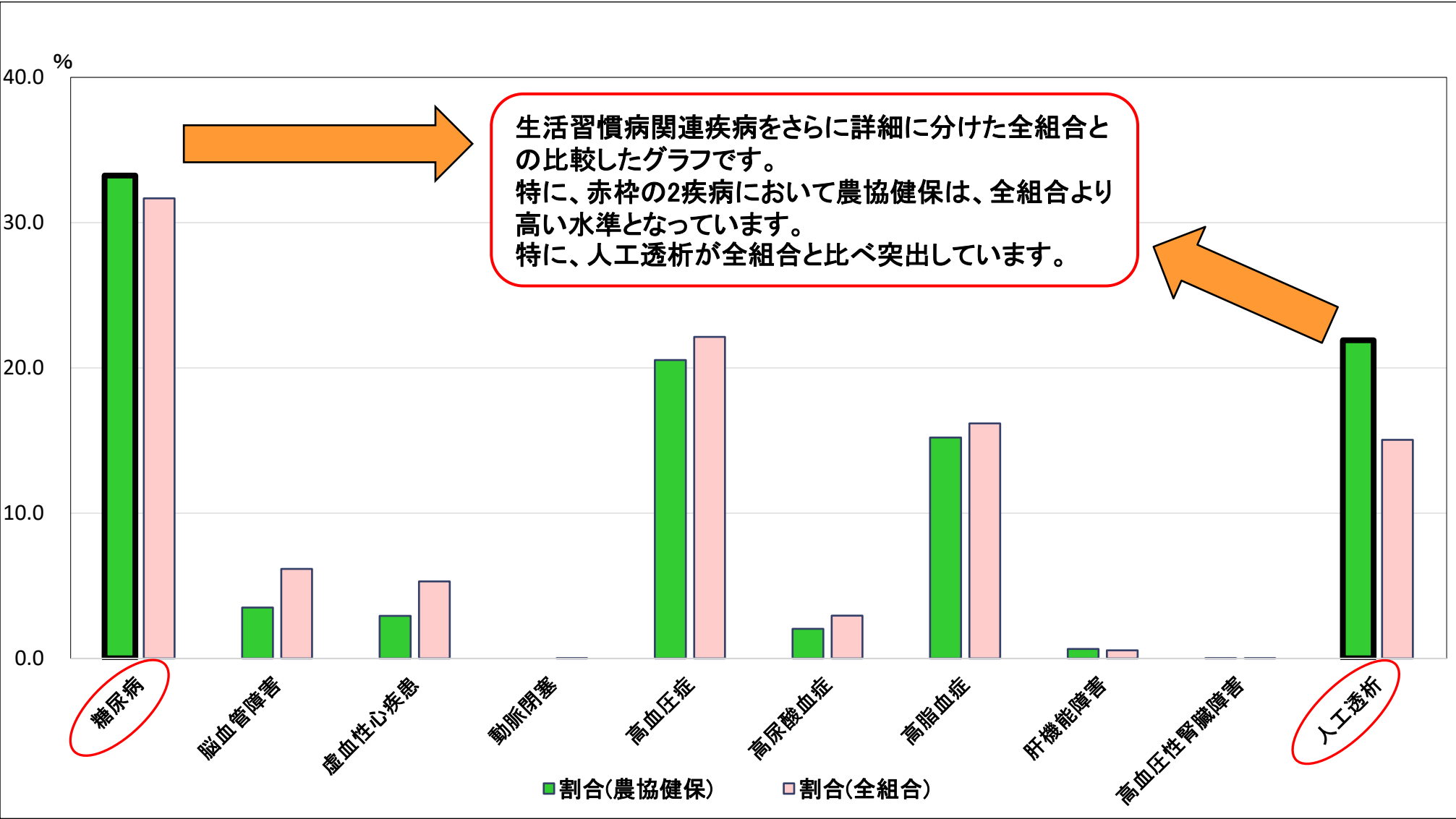


上記は農協健保全体の生活習慣病関連別医療費を経年比較で表記した金額とグラフとなっておりますが、糖尿病・脳血管障害・人工透析は2017年度と比較して全ての年度において100%を超える対比となり、この生活習慣病関連に特化した対策が必要と考えられます。

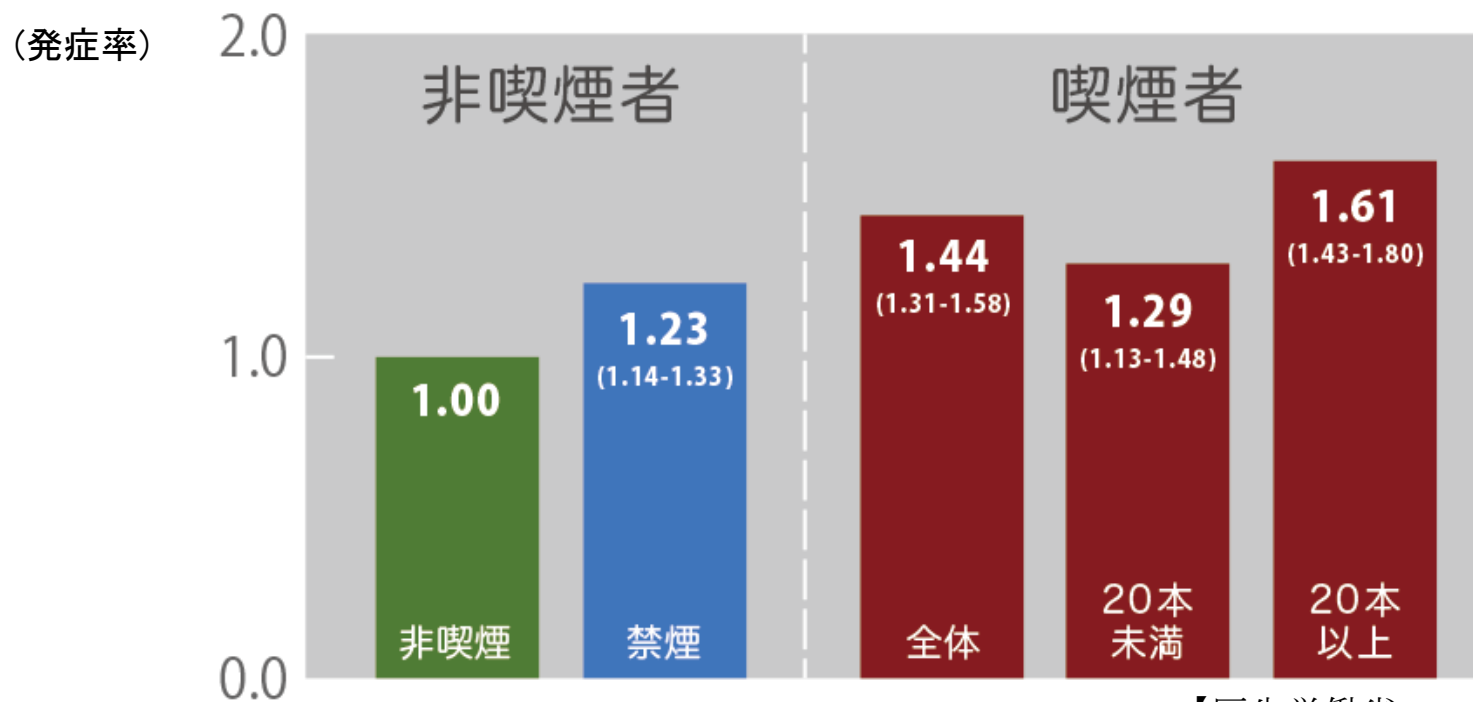
令和3年度 疾病分類別医療費割合(全組合との比較)



令和3年度 生活習慣病関連別医療費割合(全組合との比較)



喫煙状況別にみた糖尿病の発症リスク



【厚生労働省e-ヘルスネットより】

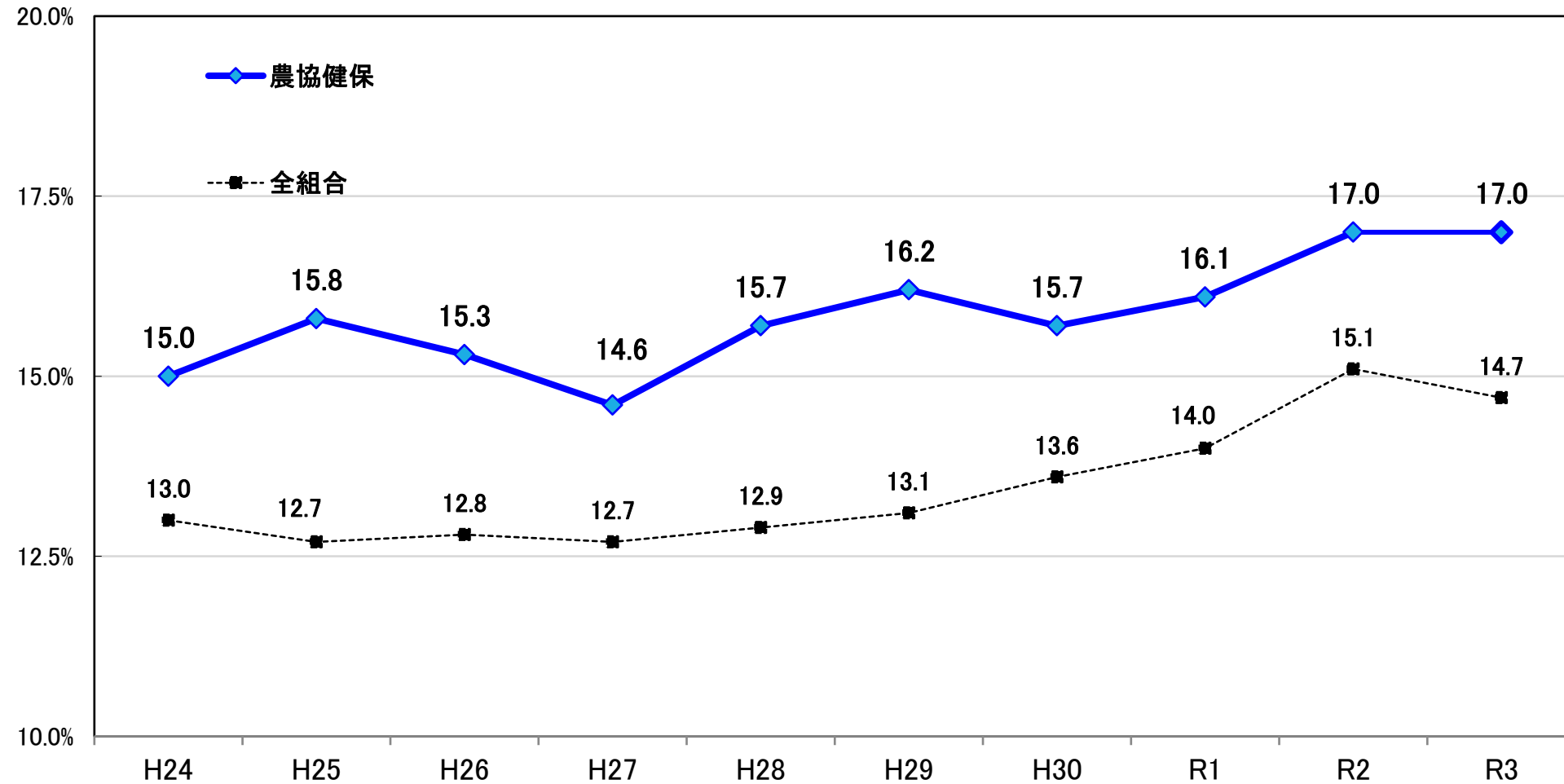
たばこを吸うと交感神経を刺激して血糖を上昇させるだけでなく、体内のインスリンの働きを妨げる作用があります。そのため糖尿病にかかりやすくなります。たばこを吸う人は、吸わない人に比べ上記グラフにより2型糖尿病に1.4倍かかりやすくなっています。

また喫煙本数が多いほど糖尿病になりやすく、禁煙した人ではリスクの低下がみられます。

そして喫煙は、既に糖尿病にかかっている人においても悪影響を及ぼします。糖尿病の患者さんがたばこを吸い続けると、治療の妨げとなるほか、脳梗塞や心筋梗塞、糖尿病性腎症などの合併症のリスクが高まることがわかっています。これらのことから出来るだけ早く禁煙することが大切です。

(4) メタボ該当者の割合が全組合の平均と比べて高い

令和3年度 メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)該当者割合の経年変化



メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)の該当者割合を令和3年度から過去10年間分、全組合と比較した表です。農協健保は全組合の該当者割合と比較して、高い水準となっており、特定保健指導を実施する事によって該当者割合の減少が必要となっている状況です。

まとめ(健康課題への対策)

健康課題

(1) 運動習慣がある者の割合が非常に低く、肥満リスクも高い

⇒対策:① 運動のイベント活動(ウォーキング大会等)の推奨

- ・県内のウォーキングコース等を紹介。運動する機会を増やし、運動習慣の向上と肥満リスクの減少に繋げる。
- ・ウォーキング大会等の参加者の健診結果より運動の行動変容の有無を健診結果を比較。

(2) 血糖リスクが高く、糖尿病の医療費が高い

⇒対策:② 糖尿病受診勧奨対象者及び糖尿病治療者の中から喫煙中の方を対象に禁煙治療補助事業の案内を実施

- ・健診結果の糖尿病受診勧奨対象者及び糖尿病治療者の中から喫煙している方に糖尿病に関するリーフレット(合併症等)と禁煙治療費用補助事業についての案内を同封。
- ③ 糖尿病重症化予防のために経過を確認
 - ・通知送付後、医療機関の受診状況、申請状況を随時確認し、当健保保健師による健康相談を実施。最終的に翌年の健診結果を比較。

(3) 慢性腎臓病(人工透析含む)に対する医療費が高い

⇒対策:④ 健康課題1と同様に運動のイベント活動(ウォーキング大会等)の推奨

※あらゆる学術研究において、腎機能回復には運動が重要視されている。

(4) メタボ該当者の割合が全組合の平均と比べて高い

⇒対策:⑤ 特定保健指導を実施強化することにより、メタボ該当者の減少を図る

- ・人間ドック等の受診当日による特定保健指導の推奨・促進。
- ・事業所と連携を強化し、訪問型保健指導を実施。

STEP 2 健康課題の抽出

No.	STEP1 対応項目	基本分析による現状把握から見える主な健康課題		対策の方向性	優先すべき 課題
1	ア	運動習慣がある者の割合が非常に低く、肥満リスクも高い。	➡	運動のイベント活動（ウォーキング大会等）を実施することにより、継続的な運動習慣の向上と肥満リスクの減少に繋げる。	✓
2	ア	血糖リスクが高く、糖尿病の医療費が高い。	➡	喫煙により糖尿病が悪化することから、糖尿病の受診勧奨対象者及び糖尿病治療者の中から喫煙者を対象に禁煙治療補助事業の案内を送付し、糖尿病の重症化を防ぐ。	✓
3	ア	慢性腎臓病（人工透析含む）に対する医療費が高い。	➡	運動のイベント活動（ウォーキング大会等）を実施することにより、腎臓機能の向上に繋げる。	✓
4	ア	メタボ該当者の割合が全組合の平均と比べて高い。	➡	人間ドック等の受診当日による特定保健指導の推奨・促進。事業所と連携を強化し、訪問型保健指導を実施。	✓

基本情報

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点
1	特定健診(ドック含む)の被扶養者の受診率が低い。	➡	被扶養者の特定健診未受診者に対し、パート先等での特定健診結果データ提供者にインセンティブ(贈呈品)を付与する事業を実施し、受診率向上を目指す。

保健事業の実施状況

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点
1	禁煙治療費用補助に申請者がいない。	➡	糖尿病重症化予防事業での受診勧奨対象者と糖尿病治療中の喫煙者に対し、禁煙治療費用補助事業の案内を送付し、利用の実施を目指す。
2	コロナ禍の状況によって、各保健事業(保養所等)の利用者数が低下し、その後も利用者数があまり伸びていない。	➡	引き続き、被保険者・被扶養者全体に広報誌やホームページ等において保健事業の広報を行い、利用者数の改善に努める。

STEP 3 保健事業の実施計画

事業全体の目的
運動イベント活動の実施や、生活習慣病予防における重症化対策を行い、加入者の健康増進に努める。

事業全体の目標
健康スコアリングレポートにおける当組合全体の生活習慣病リスク(肥満や血糖)の評価の改善を目指す。

事業の一覧	
職場環境の整備	
保健指導宣伝	健康管理事業推進委員会
保健指導宣伝	事務担当者説明会
保健指導宣伝	マイナ保険証広報
加入者への意識づけ	
保健指導宣伝	機関誌発行
保健指導宣伝	すこやか健保配布
保健指導宣伝	ホームページ管理運営
保健指導宣伝	健康者慶祝
保健指導宣伝	医療費通知
保健指導宣伝	ジェネリック医薬品差額通知
保健指導宣伝	共同保健指導宣伝
個別の事業	
特定健康診査事業	特定健康診査
特定健康診査事業	特定健康診査(インセンティブ付与)
特定保健指導事業	特定保健指導
特定保健指導事業	特定保健指導(インセンティブ付与)
保健指導宣伝	健康教育講座
保健指導宣伝	レセプト点検
保健指導宣伝	コンピューター共同システム利用等
疾病予防	人間ドック
疾病予防	節目ドック
疾病予防	脳ドック
疾病予防	脳・動脈硬化ドック
疾病予防	肺ドック
疾病予防	胃検診
疾病予防	子宮癌検診
疾病予防	乳癌検診
疾病予防	骨密度検診
疾病予防	健診パンフレット等
疾病予防	インフルエンザ予防接種利用料補助
疾病予防	歯科健診
疾病予防	禁煙治療費用補助
疾病予防	糖尿病重症化予防
体育奨励	東京ディズニーリゾートウォーキング
体育奨励	那須ハイランドパークウォーキング
体育奨励	体力づくり
体育奨励	体力づくり(参加費補助)
体育奨励	体力づくり(J Aグループ栃木野球大会)
体育奨励	保健体育大会補助
その他	契約保養所利用補助

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予 算 科 目	注1) 事業 分類	新 規 既 存	事業名	対象者			注2) 実施 主体	注3) プロセス 分類	実施方法	注4) ストラク チャー 分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連					
				対象 事業所	性別	年齢						実施計画												
												令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度							
アウトプット指標												アウトカム指標												
職場環境の整備																								
保 健 指 導 宣 伝	1,5	既存	健康管理事業 推進委員会	全て	男女	18 ～ 74	被保険 者	3	ケ	年1回、定期委員会を開 催するほか、委員から要 請があったとき等必要が あれば随時開催する。	ア	委員会の体制は下記のと おり。 (1) 委員長は、理事長と する。 (2) 委員は、事業主の推 薦等に基づき、事業所に おいて健康管理・衛生管 理の業務を行う職に ある者、当組合の常務理 事及び事務局長とする。	継続	150	継続	150	継続	150	継続	150	保健事業に関する事業計画の企画立案・策 定及び結果の分析と評価	該当なし（これまでの経緯等で実 施する事業）		
	参加率(【実績値】33% 【目標値】令和6年度：80% 令和7年度：80% 令和8年度：80% 令和9年度：80% 令和10年度：80% 令和11年度：80%)委員の参 加率とする。												- (アウトカムは設定されていません)											
	1,5	既存	事務担当者説 明会	全て	男女	18 ～ 74	被保険 者	1	ケ	年1回、定期説明会を開 催し、必要があれば随時 開催する。	ア	-	継続	100	継続	100	継続	100	継続	100	適用事業所事務担当者の健康保険制度につ いての知識向上と保健事業の周知	該当なし（これまでの経緯等で実 施する事業）		
	参加率(【実績値】94% 【目標値】令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)適 用事業所数における参加率とする。												- (アウトカムは設定されていません)											
	1,5	新規	マイナ保険証 広報	全て	男女	0 ～ 74	加入者 全員	1	ケ	マイナ保険証に関する説 明会を事業所担当者向け に開催するとともに、リ ーフレット等での周知広 報を実施する。	シ	-	令和6年度より新規追加	100	継続	100	0	令和7年度の状況により検 討	0	0	0	0	マイナ保険証の周知促進	該当なし
	参加率(【実績値】- 【目標値】令和6年度：80% 令和7年度：80% 令和8年度：0% 令和9年度：0% 令和10年度：0% 令和11年度：0%)適用事業所数にお ける参加率とする。												マイナ保険証切替率(【実績値】- 【目標値】令和6年度：70% 令和7年度：75% 令和8年度：80% 令和9年度：85% 令和10年度：90% 令和11年度：95%)当組合の全加入者におけるマイナ保険証切替率と する。											
広報資料送付回数(【実績値】- 【目標値】令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：0回 令和9年度：0回 令和10年度：0回 令和11年度：0回)-												-												
加入者への意識づけ																								
保 健 指 導 宣 伝	2,5	既存	機関誌発行	全て	男女	18 ～ 74	被保険 者	1	ス	年2回発行 現役職員：事 業所を経由して配布する 。 任意継続：自 宅に直接郵送する。	シ	掲載記事作成は外部委託 とする。	継続	3,420	継続	3,420	継続	3,420	継続	3,420	3,420	年2回発行し、被保険者・被扶養者に対しタ イムリーな情報提供を行う。	該当なし（これまでの経緯等で実 施する事業）	
	配布回数(【実績値】2回 【目標値】令和6年度：2回 令和7年度：2回 令和8年度：2回 令和9年度：2回 令和10年度：2回 令和11年度：2回)-												- (アウトカムは設定されていません)											
	2,5	既存	すこやか健保 配布	全て	男女	18 ～ 74	被保険 者	1	ス	月1回、健康保険組合連合 会作成の機関紙「すこや か健保」を事業主に送付 する。	シ	-	継続	31	継続	31	継続	31	継続	31	健康に関する知識、医療費などに関する情 報を事業所に周知し、健康に対する啓蒙	該当なし（これまでの経緯等で実 施する事業）		
	事業所送付回数(【実績値】- 【目標値】令和6年度：12回 令和7年度：12回 令和8年度：12回 令和9年度：12回 令和10年度：12回 令和11年度：12回)-												- (アウトカムは設定されていません)											
	2,5	既存	ホームページ 管理運営	全て	男女	0 ～ 74	加入者 全員	1	ス	年1回、掲載内容の定期 更新を実施するほか、法 改正の内容・健康情報等 を随時発信する。	シ	掲載内容の定期更新は外 部委託とする。 法改正の内容・健康情報 等の随時発信は組合内で 実施する。	継続	500	継続	500	継続	500	継続	500	500	被保険者及び被扶養者に対し、適用・給付 ・保健事業等や健康保険制度に関する情報 提供	該当なし（これまでの経緯等で実 施する事業）	
	月間アクセス数(【実績値】- 【目標値】令和6年度：800回 令和7年度：850回 令和8年度：900回 令和9年度：950回 令和10年度：1,000回 令和11年度：1,000回)-												- (アウトカムは設定されていません)											
2	既存	健康者慶祝	全て	男女	0 ～ 74	被保険 者,被扶 養者,基 準該当 者	1	ア,ク	毎年10月の健康強調月 間にあわせ、1年以上無 診療の被保険者及び世帯 に対し、記念品等を自宅 に直接送付する。	シ	記念品の送付は外部委託 とする。	継続	9,800	継続	9,800	継続	9,800	継続	9,800	9,800	健康者慶祝を通じ、自身の健康に対する関 心を高め、健康の保持増進と医療費の適正 化	該当なし（これまでの経緯等で実 施する事業）		
実施回数(【実績値】1回 【目標値】令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回)-												慶祝者の割合(【実績値】6.5% 【目標値】令和6年度：6.5% 令和7年度：6.6% 令和8年度：6.7% 令和9年度：6.8% 令和10年度：6.9% 令和11年度：7.0%)全被保険者における慶祝者の割合とする。												
													700	700	700	700	700	700	700					

予算科目	注1) 事業分類	新規 既存	事業名	対象者			注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連				
				対象事業所	性別	年齢						対象者	実施計画										
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度			令和11年度			
アウトプット指標												アウトカム指標											
2	既存	医療費通知	全て	男女	0～74	被保険者,被扶養者,基準該当者	1	ス	年2回通知（9月・翌年3月） 現役職員：事業所を経由して配付する。 任意継続：自宅に直接郵送する。	シ	通知の作成は外部委託とする。	継続	継続	継続	継続	継続	継続	被保険者・被扶養者の医療費を通知し、医療費のコスト意識と健康意識の啓発	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）				
通知回数(【実績値】 2回 【目標値】 令和6年度：2回 令和7年度：2回 令和8年度：2回 令和9年度：2回 令和10年度：2回 令和11年度：2回)-												- (アウトカムは設定されていません)											
7	既存	ジェネリック医薬品差額通知	全て	男女	0～74	被保険者,被扶養者,基準該当者	1	キ,ク	年1回、ジェネリック医薬品差額通知を送付する。	シ	通知の作成は外部委託とする。	継続	400	400	400	400	400	400	調剤医療費の適正化	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）			
配付回数(【実績値】 1回 【目標値】 令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回)-												変更切替率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：80% 令和7年度：80% 令和8年度：80% 令和9年度：80% 令和10年度：80% 令和11年度：80%)通知送付者における変更切替率とする。											
2,5	既存	共同保健指導宣伝	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ス	健康保険組合連合会との共同事業として、健康強調月間に合わせ、健康知識の啓蒙等を目的としたポスター・チラシ等を作成し、事業所に配布する。	シ	-	継続	0	0	0	0	0	0	加入者の健康知識の啓蒙	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）			
配布回数(【実績値】 1回 【目標値】 令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回)-												- (アウトカムは設定されていません)											
個別の事業																							
特定健康診査事業	3	既存（法定）	特定健康診査	全て	男女	40～74	加入者全員	1	オ	特定健康診査等実施計画書に基づき、健診を実施する。	ア,カ	契約医療機関での特定健診項目を含めた人間ドックの実施する。 事業主による定期健康診断と一緒に特定健診の実施する。 人間ドックを申込みしなかった扶養者等に対して特定健診受診券を送付し、特定健診受診を促進する。	12,653	12,653	12,653	12,653	12,653	12,653	特定健診実施率の向上、内臓脂肪症候群該当者の減少	血糖リスクが高く、糖尿病の医療費が高い。			
														事業主による定期健康診断と一緒に特定健診を実施、人間ドックの実施、扶養者等への特定健診受診券の送付	事業主による定期健康診断と一緒に特定健診を実施、人間ドックの実施、扶養者等への特定健診受診券の送付	事業主による定期健康診断と一緒に特定健診を実施、人間ドックの実施、扶養者等への特定健診受診券の送付	事業主による定期健康診断と一緒に特定健診を実施、人間ドックの実施、扶養者等への特定健診受診券の送付	事業主による定期健康診断と一緒に特定健診を実施、人間ドックの実施、扶養者等への特定健診受診券の送付		事業主による定期健康診断と一緒に特定健診を実施、人間ドックの実施、扶養者等への特定健診受診券の送付	慢性腎臓病（人工透析含む）に対する医療費が高い。		
														事業主による定期健康診断と一緒に特定健診を実施、人間ドックの実施、扶養者等への特定健診受診券の送付	事業主による定期健康診断と一緒に特定健診を実施、人間ドックの実施、扶養者等への特定健診受診券の送付	事業主による定期健康診断と一緒に特定健診を実施、人間ドックの実施、扶養者等への特定健診受診券の送付	事業主による定期健康診断と一緒に特定健診を実施、人間ドックの実施、扶養者等への特定健診受診券の送付	事業主による定期健康診断と一緒に特定健診を実施、人間ドックの実施、扶養者等への特定健診受診券の送付		メタボ該当者の割合が全組合の平均と比べて高い。			
	特定健診実施率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：85% 令和7年度：87.0% 令和8年度：88.2% 令和9年度：89.5% 令和10年度：90.3% 令和11年度：91.1%)-												内臓脂肪症候群該当者割合(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：17.0% 令和7年度：16.5% 令和8年度：16.0% 令和9年度：15.5% 令和10年度：15.0% 令和11年度：14.5%)-										
	3	新規	特定健康診査(インセンティブ付与)	全て	男女	40～74	被扶養者	1	ア	被扶養者へ特定健診結果のデータ提供依頼し、提供者に粗品を年間1回贈呈する。	シ	-	令和6年度より新規追加	274	274	274	274	274	274	特定健診受診率の向上	血糖リスクが高く、糖尿病の医療費が高い。 慢性腎臓病（人工透析含む）に対する医療費が高い。 メタボ該当者の割合が全組合の平均と比べて高い。		
提供者数(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：150人 令和7年度：160人 令和8年度：170人 令和9年度：180人 令和10年度：190人 令和11年度：200人)-												被扶養者の受診率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：50% 令和7年度：52% 令和8年度：54% 令和9年度：56% 令和10年度：58% 令和11年度：60%)-											
特定保健指導事業	4	既存（法定）	特定保健指導	全て	男女	40～74	被保険者,被扶養者,基準該当者	1	オ,コ	特定健康診査等実施計画書に基づき、指導を実施する。	ア,ウ,カ,ケ	人間ドック受診当日に特定保健指導の実施する。 受診当日に実施しなかった場合は、後日、外部委託もしくは当健保の保健師による訪問型保健指導の実施する。	11,208	11,208	11,208	11,208	11,208	11,208	保健指導実施率の向上、生活習慣病リスク保有者の生活習慣・健康状態の改善。	血糖リスクが高く、糖尿病の医療費が高い。			
														人間ドック受診当日の特定保健指導の推奨、外部委託もしくは当健保の保健師による訪問型保健指導の実施	人間ドック受診当日の特定保健指導の推奨、外部委託もしくは当健保の保健師による訪問型保健指導の実施	人間ドック受診当日の特定保健指導の推奨、外部委託もしくは当健保の保健師による訪問型保健指導の実施	人間ドック受診当日の特定保健指導の推奨、外部委託もしくは当健保の保健師による訪問型保健指導の実施	人間ドック受診当日の特定保健指導の推奨、外部委託もしくは当健保の保健師による訪問型保健指導の実施		人間ドック受診当日の特定保健指導の推奨、外部委託もしくは当健保の保健師による訪問型保健指導の実施	慢性腎臓病（人工透析含む）に対する医療費が高い。		
	特定保健指導実施率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：43.8% 令和7年度：44.2% 令和8年度：44.5% 令和9年度：44.8% 令和10年度：45.1% 令和11年度：45.4%)-												腹囲 2 cm・体重 2 kg減を達成した者の割合(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：22.5% 令和7年度：23.0% 令和8年度：23.5% 令和9年度：24.0% 令和10年度：24.5% 令和11年度：25.0%)-										
4	新規	特定保健指導(インセンティブ付与)	全て	男女	40～74	被保険者,被扶養者,基準該当者	1	ア	健診機関にて健診当日に特定保健指導を実施し、保健指導終了時で体重2kgもしくは腹囲2cm減少を達成した者等に粗品を年間1回贈呈する。	カ	契約医療機関実施でクオカード3,000円、当健保保健師実施で2,000円を達成者に贈呈する。	令和6年度より新規追加	337	337	337	337	337	337	特定保健指導率の向上	血糖リスクが高く、糖尿病の医療費が高い。 慢性腎臓病（人工透析含む）に対する医療費が高い。 メタボ該当者の割合が全組合の平均と比べて高い。			

予算科目	注1) 事業分類	新規 既存	事業名	対象者			注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連				
				対象事業所	性別	年齢						実施計画										
												令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度			令和11年度			
アウトプット指標												アウトカム指標										
達成者数(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：50人 令和7年度：60人 令和8年度：70人 令和9年度：80人 令和10年度：90人 令和11年度：100人)-												指導対象者の減少率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：10% 令和7年度：12% 令和8年度：14% 令和9年度：16% 令和10年度：18% 令和11年度：20%)翌年度の指導対象者と比較する。										
保健指導 宣伝	5	既存	健康教育講座	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ス	年1回、健康講座の開催する。	ク	健保連栃木連合会と共催で実施する。	継続	継続	継続	継続	継続	継続	健康に関する知識・情報の提供	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）		
	参加者数(【実績値】 8人 【目標値】 令和6年度：10人 令和7年度：10人 令和8年度：10人 令和9年度：10人 令和10年度：10人 令和11年度：10人)-												(アウトカムは設定されていません)									
	8	既存	レセプト点検	全て	男女	0～74	被保険者、被扶養者、基準該当者	1	キ、ク	毎月、レセプト点検業者にレセプトの内容点検を依頼し、レセプト点検対象者を抽出後、審査機関に提出する。査定・原審のレセプト結果を集計する。	ク	レセプト点検業者に外部委託し実施する。	継続	継続	継続	継続	継続	継続	医療費の適正化	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）		
	再審査請求件数(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：1,800件 令和7年度：1,800件 令和8年度：1,800件 令和9年度：1,800件 令和10年度：1,800件 令和11年度：1,800件)-												査定率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：15% 令和7年度：15% 令和8年度：15% 令和9年度：15% 令和10年度：15% 令和11年度：15%)再審査請求件数における査定率とする。									
	2,8	既存	コンピューター共同システム利用等	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ス	レセプト等の電算処理、保健指導・健康管理資料の作成	シ	関連資料の作成等は外部委託とする。	継続	継続	継続	継続	継続	継続	レセプト等の電算処理、保健指導・健康管理資料の作成による医療費の適正化	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）		
	電算処理等(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：12回 令和7年度：12回 令和8年度：12回 令和9年度：12回 令和10年度：12回 令和11年度：12回)-												(アウトカムは設定されていません)									
疾病 予防	3	既存	人間ドック	全て	男女	30～74	加入者全員	1	イ,オ,コ	費用の一部を助成する。	カ	契約医療機関で実施する。	継続	継続	継続	継続	継続	継続	人間ドック実施率の向上、受診後の再検査・精密検査等の実施率の向上	運動習慣がある者の割合が非常に低く、肥満リスクも高い。 血糖リスクが高く、糖尿病の医療費が高い。 慢性腎臓病（人工透析含む）に対する医療費が高い。 メタボ該当者の割合が全組合の平均と比べて高い。		
	受診率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：65% 令和7年度：66% 令和8年度：67% 令和9年度：68% 令和10年度：69% 令和11年度：70%)各ドック受診者の合計受診率とする。												再検率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：65% 令和7年度：66% 令和8年度：67% 令和9年度：68% 令和10年度：69% 令和11年度：70%)各ドック受診者の合計再検率とする。									
	3	既存	節目ドック	全て	男女	40～55	被保険者、被扶養者、基準該当者	1	イ,オ,コ	該当者(健診未受診者)に受診券を送付し、利用者の費用の全額を補助する。	カ	契約医療機関で実施する。	継続	継続	継続	継続	継続	継続	疾病の早期発見・早期治療、ドック等未受診者の減少	運動習慣がある者の割合が非常に低く、肥満リスクも高い。 血糖リスクが高く、糖尿病の医療費が高い。 慢性腎臓病（人工透析含む）に対する医療費が高い。 メタボ該当者の割合が全組合の平均と比べて高い。		
	受診者数(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：10人 令和7年度：10人 令和8年度：10人 令和9年度：10人 令和10年度：10人 令和11年度：10人)-												(アウトカムは設定されていません)									
	3	既存	脳ドック	全て	男女	30～74	加入者全員	1	イ,オ,コ	費用の一部を助成する。	カ	契約医療機関で実施する。	継続	継続	継続	継続	継続	継続	人間ドック実施率の向上、受診後の再検査・精密検査等の実施率の向上	運動習慣がある者の割合が非常に低く、肥満リスクも高い。 血糖リスクが高く、糖尿病の医療費が高い。 慢性腎臓病（人工透析含む）に対する医療費が高い。 メタボ該当者の割合が全組合の平均と比べて高い。		
	受診率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：65% 令和7年度：66% 令和8年度：67% 令和9年度：68% 令和10年度：69% 令和11年度：70%)各ドック受診者の合計受診率とする。												再検率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：65% 令和7年度：66% 令和8年度：67% 令和9年度：68% 令和10年度：69% 令和11年度：70%)各ドック受診者の合計再検率とする。									
													3,200	3,200	3,200	3,200	3,200	3,200				

予算科目	注1) 事業分類	新規 既存	事業名	対象者			注2) 実施主体	注3) プロセス 分類	実施方法	注4) ストラクチャー 分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連			
				対象事業所	性別	年齢						対象者	実施計画								
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度			令和10年度	令和11年度	
アウトプット指標												アウトカム指標									
3	既存	脳・動脈硬化ドック	全て	男女	30～74	加入者全員	1	イ,オ,コ	費用の一部を助成する。	カ	契約医療機関で実施する。	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	疾病の早期発見・早期治療	運動習慣がある者の割合が非常に低く、肥満リスクも高い。 血糖リスクが高く、糖尿病の医療費が高い。 慢性腎臓病（人工透析含む）に対する医療費が高い。 メタボ該当者の割合が全組合の平均と比べて高い。
受診率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：65% 令和7年度：66% 令和8年度：67% 令和9年度：68% 令和10年度：69% 令和11年度：70%)各ドック受診者の合計受診率とする。												再検率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：65% 令和7年度：66% 令和8年度：67% 令和9年度：68% 令和10年度：69% 令和11年度：70%)各ドック受診者の合計再検率とする。									
3	既存	肺ドック	全て	男女	30～74	加入者全員	1	イ,オ,コ	費用の一部を助成する。	カ	契約医療機関で実施する。	継続	1,275	1,275	1,275	1,275	1,275	1,275	1,275	継続	運動習慣がある者の割合が非常に低く、肥満リスクも高い。 血糖リスクが高く、糖尿病の医療費が高い。 慢性腎臓病（人工透析含む）に対する医療費が高い。 メタボ該当者の割合が全組合の平均と比べて高い。
受診率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：65% 令和7年度：66% 令和8年度：67% 令和9年度：68% 令和10年度：69% 令和11年度：70%)各ドック受診者の合計受診率とする。												再検率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：65% 令和7年度：66% 令和8年度：67% 令和9年度：68% 令和10年度：69% 令和11年度：70%)各ドック受診者の合計再検率とする。									
3	既存	胃検診	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ウ,オ	費用の一部を助成する。	カ	契約医療機関で実施する。	継続	3,640	3,640	3,640	3,640	3,640	3,640	3,640	継続	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）
受診者数(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：350人 令和7年度：355人 令和8年度：360人 令和9年度：365人 令和10年度：370人 令和11年度：375人)-												再検率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：65% 令和7年度：66% 令和8年度：67% 令和9年度：68% 令和10年度：69% 令和11年度：70%)-									
3	既存	子宮癌検診	全て	女性	0～74	加入者全員	1	ウ,オ	費用の一部を助成する。	カ	契約医療機関で実施する。	継続	2,100	2,100	2,100	2,100	2,100	2,100	2,100	継続	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）
受診者数(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：450人 令和7年度：460人 令和8年度：470人 令和9年度：480人 令和10年度：490人 令和11年度：500人)-												再検率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：65% 令和7年度：66% 令和8年度：67% 令和9年度：68% 令和10年度：69% 令和11年度：70%)-									
3	既存	乳癌検診	全て	女性	0～74	加入者全員	1	ウ	費用の一部を助成する。	カ	契約医療機関で実施する。	継続	5,460	5,460	5,460	5,460	5,460	5,460	5,460	継続	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）
実施人数(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：1,250人 令和7年度：1,260人 令和8年度：1,270人 令和9年度：1,280人 令和10年度：1,290人 令和11年度：1,300人)-												再検率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：65% 令和7年度：66% 令和8年度：67% 令和9年度：68% 令和10年度：69% 令和11年度：70%)-									
3	既存	骨密度検診	全て	女性	50～74	加入者全員	1	ウ,オ	費用の一部を助成する。	カ	契約医療機関で実施する。	継続	400	400	400	400	400	400	400	継続	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）
実施人数(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：190人 令和7年度：192人 令和8年度：194人 令和9年度：196人 令和10年度：198人 令和11年度：200人)-												(アウトカムは設定されていません)									
5	既存	健診パンフレット等	全て	男女	18～74	被保険者,任意継続者	1	ス	年1回、翌年度の人間ドック等の受診希望取りまとめ時に配布する。	シ	-	継続	400	400	400	400	400	400	400	継続	疾病予防事業等の広報パンフレット作成による人間ドック受診勧奨等 該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）
配布回数(【実績値】 1回 【目標値】 令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回)-												-									
8	既存	インフルエンザ予防接種利用料補助	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ス	年間1人1回、予防接種費用の上限2,000円を助成する。	シ	-	継続	14,400	14,400	14,400	14,400	14,400	14,400	14,400	継続	インフルエンザ蔓延予防・感染防止 該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）
利用者率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：50% 令和7年度：50% 令和8年度：50% 令和9年度：50% 令和10年度：50% 令和11年度：50%)-												-(アウトカムは設定されていません)									
													558	558	558	558	558	558	558		

予算科目	注1) 事業分類	新規 既存	事業名	対象者			注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連					
				対象事業所	性別	年齢						対象者	実施計画											
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度			令和11年度				
アウトプット指標												アウトカム指標												
3,4	既存		歯科健診	全て	男女	18～74	被保険者	1	ウ	【出向型】歯科医師を事業所に派遣し、実施する。 【来院型】栃木県歯科医師会ホームページより加盟している歯科医院に予約を取り実施する。	ク	【出向型】栃木県歯科医師会に依頼する。 【来院型】栃木県歯科医師会に加盟する歯科医院で実施する。	継続	継続	継続	継続	継続	継続	歯科医療費の適正化	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）				
実施人数(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：25人 令和7年度：30人 令和8年度：35人 令和9年度：40人 令和10年度：45人 令和11年度：50人)-												治療率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)-												
5	既存		禁煙治療費用補助	全て	男女	20～74	被保険者	1	ア,キ	年間1人1回、禁煙治療外来費用の一部(上限20,000円)を助成する。	シ	-	継続	400	400	400	400	400	400	喫煙者の減少、健康保持増進と受動喫煙防止	血糖リスクが高く、糖尿病の医療費が高い。			
実施人数(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：1人 令和7年度：2人 令和8年度：3人 令和9年度：4人 令和10年度：5人 令和11年度：6人)-												禁煙補助による成功率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：50% 令和7年度：52% 令和8年度：54% 令和9年度：56% 令和10年度：58% 令和11年度：60%)禁煙治療費用補助を利用した者で禁煙に成功した割合												
4	既存		糖尿病重症化予防	全て	男女	30～64	被保険者,被扶養者,基準該当者	1	イ,キ	年2回、県の糖尿病重症化予防プログラムを参照し、そのプログラム条件から基準該当者を抽出し、受診勧奨を実施する。	シ	-	継続	0	0	0	0	0	0	糖尿病に対する高リスク者の減少	血糖リスクが高く、糖尿病の医療費が高い。			
通知者数(【実績値】 25人 【目標値】 令和6年度：25人 令和7年度：25人 令和8年度：25人 令和9年度：25人 令和10年度：25人 令和11年度：25人)-												通知後の受診率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：10% 令和7年度：12% 令和8年度：14% 令和9年度：16% 令和10年度：18% 令和11年度：20%)-												
体育奨励	8	既存	東京ディズニーリゾートウォーキング	全て	男女	4～74	加入者全員	1	ス	年間1回、入園料の補助2,000円を実施する。	シ	-	継続	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	体力づくりのためのウォーキング及び心身のリフレッシュ	運動習慣がある者の割合が非常に低く、肥満リスクも高い。			
	利用率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：55% 令和7年度：56% 令和8年度：57% 令和9年度：58% 令和10年度：59% 令和11年度：60%)-												運動習慣リスク評価点(【実績値】 68点 【目標値】 令和6年度：80点 令和7年度：80点 令和8年度：80点 令和9年度：80点 令和10年度：80点 令和11年度：80点)健康スコアリングレポートでの運動習慣リスクの評価点とする。											
	8	既存	那須ハイランドパークウォーキング	全て	男女	3～74	加入者全員	1	ス	年間1回、乗り放題付き入園チケットに対し2,000円の補助を実施する。	シ	-	継続	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	体力づくりのためのウォーキング及び心身のリフレッシュ	運動習慣がある者の割合が非常に低く、肥満リスクも高い。			
	利用率(【実績値】 18.3% 【目標値】 令和6年度：20% 令和7年度：22% 令和8年度：24% 令和9年度：26% 令和10年度：28% 令和11年度：30%)-												運動習慣リスク評価点(【実績値】 68点 【目標値】 令和6年度：80点 令和7年度：80点 令和8年度：80点 令和9年度：80点 令和10年度：80点 令和11年度：80点)健康スコアリングレポートでの運動習慣リスクの評価点とする。											
	2,5	既存	体力づくり	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ス	年2回、ウォーキング大会を開催(当組合主催)する。	シ	-	継続	900	900	900	900	900	900	ウォーキング大会等を開催・協賛し、最も手軽な体力増進活動であるウォーキング等の習慣づけを図る	運動習慣がある者の割合が非常に低く、肥満リスクも高い。			
	参加者数(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：100人 令和7年度：110人 令和8年度：120人 令和9年度：130人 令和10年度：140人 令和11年度：150人)-												運動習慣リスク評価点(【実績値】 68点 【目標値】 令和6年度：80点 令和7年度：80点 令和8年度：80点 令和9年度：80点 令和10年度：80点 令和11年度：80点)健康スコアリングレポートでの運動習慣リスクの評価点とする。											
	5	既存	体力づくり(参加費補助)	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ス	年度内1人3回、適用事業所・地方自治体等が行うウォーキング大会等を上限2,000円まで補助する。	シ	-	継続	600	600	600	600	600	600	ウォーキング等を行い、心身共にリフレッシュすることを目標とする。	運動習慣がある者の割合が非常に低く、肥満リスクも高い。			
	利用者数(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：100人 令和7年度：110人 令和8年度：120人 令和9年度：130人 令和10年度：140人 令和11年度：150人)-												運動習慣リスク評価点(【実績値】 68点 【目標値】 令和6年度：80点 令和7年度：80点 令和8年度：80点 令和9年度：80点 令和10年度：80点 令和11年度：80点)健康スコアリングレポートでの運動習慣リスクの評価点とする。											
	8	既存	体力づくり(JAグループ栃木野球大会)	一部の事業所	男女	18～74	被保険者	3	ス	野球大会の開催に際し協賛金の助成する。	ア	年1回、対象事業所と協賛で実施する。	継続	200	200	200	200	200	200	200	野球大会を共催することにより、健康増進と加入者の親睦を図る	運動習慣がある者の割合が非常に低く、肥満リスクも高い。		
実施回数(【実績値】 1回 【目標値】 令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回)-												-(アウトカムは設定されていません)												
5	既存		保健体育大会補助	全て	男女	18～74	被保険者	1	ス	年度内1人1回、事業所が開催した保健体育大会等の費用に対し1,000円を助成する。	シ	-	継続	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	被保険者の体力と健康の保持増進	運動習慣がある者の割合が非常に低く、肥満リスクも高い。			
参加利用者数(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：120人 令和7年度：130人 令和8年度：140人 令和9年度：150人 令和10年度：160人 令和11年度：170人)-												運動習慣リスク評価点(【実績値】 68点 【目標値】 令和6年度：80点 令和7年度：80点 令和8年度：80点 令和9年度：80点 令和10年度：80点 令和11年度：80点)健康スコアリングレポートでの運動習慣リスクの評価点とする。												
													3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500					

予算 科目	注1) 事業 分類	新規 既存	事業名	対象者				注2) 実施 主体	注3) プロセス 分類	実施方法	注4) ストラク チャー 分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連
				対象 事業所	性別	年 齢	対象者						実施計画							
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度		
その他	アウトプット指標												アウトカム指標							
	8	既存	契約保養所利用補助	全て	男女	6 ～ 74	加入者 全員	1	ス	利用料の補助する。1泊 3,500円／1施設につき年 間3泊までとする。 1人あたり年度内最大6泊 までとする。	シ	-	継続	継続	継続	継続	継続	継続	加入者の心身のリフレッシュ	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）
	利用人数(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：750人 令和7年度：800人 令和8年度：850人 令和9年度：900人 令和10年度：950人 令和11年度：1,000人)-												- (アウトカムは設定されていません)							

注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導・受診勧奨 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 後発医薬品の使用促進 8. その他の事業

注2) 1. 健保組合 2. 事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3. 健保組合と事業主との共同事業

注3) ア. 加入者等へのインセンティブを付与 イ. 受診状況の確認（要医療者・要精密検査者の医療機関受診状況） ウ. 受診状況の確認（がん検診・歯科健診の受診状況） エ. I C Tの活用 オ. 専門職による健診結果の説明 カ. 他の保険者と共同で集計データを持ち寄って分析を実施 キ. 定量的な効果検証の実施
ク. 対象者の抽出（優先順位づけ、事業所の選定など） ケ. 参加の促進（選択制、事業主の協力、参加状況のモニタリング、環境整備） コ. 健診当日の面談実施・健診受診の動線活用 サ. 就業時間内も実施可（事業主と合意） シ. 保険者以外が実施したがん検診のデータを活用 ス. その他

注4) ア. 事業主との連携体制の構築 イ. 産業医または産業保健師との連携体制の構築 ウ. 外部委託先の専門職との連携体制の構築 エ. 他の保険者との健診データの連携体制の構築 オ. 自治体との連携体制の構築 カ. 医療機関・健診機関との連携体制の構築 キ. 保険者協議会との連携体制の構築 ク. その他の団体との連携体制の構築
ケ. 保険者内の専門職の活用（共同設置保健師等を含む） コ. 運営マニュアルの整備（業務フローの整理） サ. 人材確保・教育（ケースカンファレンス／ライブラリーの設置） シ. その他